

能代市教育委員会 事務点検・評価報告書

(令和元年度対象)

令和2年8月

能代市教育委員会

目 次

I	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	1
	1 趣旨	
	2 事務点検・評価の実施	
	3 事務点検・評価の方法	
	4 事務点検・評価の流れ	
II	事務点検・評価の結果	3
	1 教育委員会の自己評価（総括）	
	2 学識経験者の総合的意見	
	3 施策体系と評価一覧	
	基本目標 1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進	
	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進	8
	② 保護者への学習機会の提供等による家庭教育の支援	17
	③ 地域活動に必要な学習機会の提供	19
	④ 読書活動の推進	20
	⑤ 食育の推進	22
	基本目標 2 豊かな人間性を育む学校教育の推進	
	① 主体的で創意ある教育活動の推進	24
	② 心豊かでたくましい子どもを育てる指導	26
	③ 基礎学力の向上を図る学習指導	29
	④ 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修	32
	⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備	34
	基本目標 3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進	
	① 学習の成果を地域に生かす取り組みの推進	38
	② 市民ニーズや地域課題に対応した多様な学習機会の提供と充実	40
	③ 学習を通じた生きがいつくり、仲間づくりの支援	42
	④ 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実	44
	基本目標 4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興	
	① 伝統芸能の継承	49
	② 文化財保護事業の推進	51
	③ 文化芸術の振興	56
	基本目標 5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進	
	① 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実	60
	② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	62
	③ スポーツを活用した地域の活性化	64
	④ 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備	66
III	教育委員会の運営状況	68
	(1) 教育委員会の開催状況	
	(2) 教育委員の活動状況	

I 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすため、教育委員会自らが、教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「事務点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を議会へ提出し公表します。

2 事務点検・評価の実施

能代市では、「学び合う感謝と思いやりにあふれる“わ”のまち能代」を基本理念に、最優先すべき目標を「学校・家庭・地域・行政が一体となって子どもたちを育むまちづくりの推進」と定め、平成30年度から5年間を計画期間とした「能代市教育等の振興に関する施策の大綱」（以下「大綱」という。）を平成30年3月に策定しました。

事務点検・評価の実施にあたっては、この大綱を踏まえ、次により行います。

(1) 事務点検・評価の位置づけ

事務点検・評価は、大綱の進行管理として実施し、第2次能代市総合計画の進行管理と併せてPDCAサイクルを確立し、より効率的な事業進捗を図るとともに、効果的な教育行政を推進します。

(2) 事務点検・評価の対象

事務点検・評価の対象は、大綱の基本目標及び施策の方向性に沿った主な事業や取組とし、その実績や成果を自己点検、自己評価したうえで、課題と今後の方向性を整理し、次年度の目標を明らかにします。

3 事務点検・評価の方法

事務点検・評価は、目標に対する達成状況や成果等を基準に自己評価を行い、「目標を上回る」、「ほぼ目標どおり」、「目標をやや下回る」、「目標を大幅に下回る」の4区分とし、今後の取組の方向性は、「拡充」、「継続」、「廃止検討」、「その他」の4区分とします。

また、事務点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する次の2名の方から外部評価をしていただきます。

秋田大学教育文化学部長	佐藤修司氏
元能代第二中学校校長	佐藤敬顕氏

4 事務点検・評価の流れ

(1) 所管課による事務点検・評価

教育部各課及び施設等は、所管の対象事務について、事務点検・評価案（事務点検・評価シート）を取りまとめます。

(2) 内部評価

所管課がまとめた事務点検・評価案を部内検討し、次年度に向けた課題や今後の取

組の方向性を定めます。

(3) 学識経験者による外部評価

事務点検・評価案に関して学識経験者の外部評価を経て、事務点検・評価報告書（以下「報告書」という。）を作成します。

(4) 教育委員会の議決

報告書を教育委員会に諮り議決をします。

(5) 議会への提出及び公表

報告書を議会へ提出し、ホームページ等で市民に公表します。

(6) 報告書の活用

能代市総合計画の第2期実施計画の策定や翌年度予算編成において、事務点検・評価を踏まえた的確な対応に努めます。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 事務点検・評価の結果

1 教育委員会の自己評価（総括）

大綱の2年目である令和元年度は、全30項目のうち、10項目で目標を上回る「A」評価、20項目ではほぼ目標どおりの「B」評価としました。これは、外部評価を踏まえ、地道に改善を行ってきたことが、実績や成果に結びついたものと捉えています。

学校教育分野では、24ページ、「主体的で創意ある教育活動の推進」において、あきた型学校評価システムにより学校関係者評価を行い、全小・中学校でその結果を公表して学校、家庭、地域の一層の連携を図りました。また、小学5年生の各学校代表児童が参加して「小学生ふるさと学習交流会」を、中学2年生全員が参加して「能代っ子中学生ふるさと会議」を開催しました。小学生は、地域の特色に注目し、地元の皆様と関わりながら学んだ結果を発表し合い、中学生は、初の試みとして、日頃から感じている身近な疑問を学校ごとに市長へ質問し、市長が自ら答える議会形式によって提言に結び付けるなど、それぞれの取組に対する姿勢や学習内容は、参観者からも高い評価をいただきました。

26ページ、「心豊かでたくましい子どもを育てる指導」では、心の教室相談員、スクールカウンセラーの配置、適応指導教室、相談電話の設置のほか、不登校保護者会の開催や児童生徒支援アドバイザーを活用し、不登校児童生徒やいじめなどの悩みを抱えている児童生徒の対応にあたりました。不登校の出現率は、ここ数年、国や県の平均より下回っておりますが、学校、家庭、地域、その他関係者と連携しながら取組の強化を図ってまいります。

32ページ、「幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修」では、学校や教職員の課題に応じた研修機会を提供するため、職務別研修、教職経験者研修、テーマ別研修を実施しました。特に能代図書館と連携した読書活動推進研修会、県教育委員会指導主事を招聘した外国語活動授業研修会等、参加者による情報交換を行いながら新学習指導要領や市の教育方針、学校の課題等に即した研修を実施することができました。各研修後のアンケート調査では、内容が実践的で分かりやすかったなど参加者から高い評価をいただきました。

生涯学習・スポーツ分野では、8ページ、「学校・家庭・地域の連携協力の推進」において、能代の地域全体を学びの場とした子どもの体験活動「のしろDEマナブゥ事業」を実施しました。各種体験講座や学びの縁日「マナブゥ市」の開催、大好きな能代の誇れるものについて子ども達が考え、キャラクターとしてデザインしカード化した「マナブゥ・カード」を活用し、ふるさと能代に愛着を持った子どもたちの育成に取り組みました。

20ページ、「読書活動の推進」では、能代市子ども読書活動推進計画に基づき、読書記録ノート「能代っ子家読ノート」や秋田杉製ブックスタンドキットの配付、学校の読書活動の充実に向けた働きかけなどの啓発活動や環境整備を行いました。1か月に1冊も本を読まない子どもの割合を示す「不読率」は、県平均を大きく下回りました。

38ページ、「学習の成果を地域に生かす取り組みの推進」では、生涯学習推進事業として、各種講座メニューの中から受講者のニーズに応じて行う出前講座を122団体3,769人に利用していただいたほか、人材の活用・育成においては、生涯学習奨励員の活動として、自ら放課後子ども教

室の講師を務めたり、小学生対象の自主事業「生涯学習のつどい」を開催し、工作や簡単な料理づくりを通して世代間交流を図ることができました。

64ページ、「スポーツを活用した地域の活性化」では、「のしろチャレンジデー」や「きみまち二ツ井マラソン」を実施したほか、同マラソンと併せて地元企業等による物産フェア「きみまちの里フェスティバル」を開催しました。ゲストランナーにシドニーオリンピック女子マラソンのゴールドメダリスト高橋尚子さんを迎えたこともあり、マラソン参加者は、前年比21%増の2,103人で、過去最高を記録し、物産フェアの入場者も、雨天にもかかわらず8%増13,621人の人出となりました。

施設整備分野では、36ページ、「安全・安心な学校教育環境の整備」において、予定していた老朽化改修、トイレ改修を順調に終え、エアコン設置についても計画を策定し、今後の整備に目途をつけることができました。さらに懸案となっていたトイレの洋式化は、向能代小学校と湊城南小学校の大規模改修工事と併せ、未改修の小・中5校すべてで、国の交付金事業の前倒し採択を得て予算措置することができました。また、2か年の継続事業で進めていた「能代市教育施設等長寿命化計画」を取りまとめ、施設整備の基本的な方針及び個別の整備計画を策定しました。今後は、この計画に基づき、国の交付金等財源確保に努めながら取組を進めていきます。

平成30年3月に策定した大綱は、3年目を迎え、その基本目標に掲げる取組は、市や関係機関、各種団体、地域の皆様との連携強化等を図りつつ、着実に進んでいます。一方で、新たに取り組むべき課題やこれまで経験したことのない事態に直面しています。令和2年度から小学校でスタートした新学習指導要領は、3年度には中学校で全面実施となります。また、GIGAスクール構想の実現に向けたICT環境の整備が急務となっており、併せてタブレット端末の活用などICT教育を効果的に実践するため、教員のスキルアップを図る必要があります。

元年12月以降、新型コロナウイルス感染症は、短期間で全世界に広がり、未だ終息が見通せない状況にあります。本市においても、国や県の要請を受け、小・中学校の一斉休業や文化・スポーツ施設の休館など臨時的措置を講じたほか、現在、大小様々な行事や事業等が軒並み開催できない深刻な事態となっています。この先、特に学校では、徹底した感染予防対策と併せ、「新しい生活様式」を踏まえた学校生活の定着に向け、取り組んでいく必要があります。

このような中、市教育委員会では、今できる施策を広く発信し、多くの市民の皆様にご存知いただくこと。また、各施策を着実かつ臨機応変に実行し、その実施状況や課題把握等の進捗管理をしっかりと行うことが重要であると考えます。

今後も大綱の理念である「学び合う感謝と思いやりにあふれる“わ”のまち能代」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

2 学識経験者の総合的意見

佐藤 修司 氏

学校教育、社会教育、スポーツ、すべてにわたって充実した取り組みが行われており、素晴らしい成果を上げている。

今後の新型コロナによる影響、高齢化と人口減少などを踏まえると、今後の課題としては第一に、ICTやネット、SNSの積極的な活用が上げられる。GIGAスクール構想で子ども一人一台のPCやタブレットが配備されれば、それに対応した授業の改善も必要になる。これまでの秋田の探究型授業を継続し、高い学力を保障し続けるためにもこれまで以上に校内外の研修の充実に努めていただきたい。

第二に、学校と地域が連携して、学校づくりとともに地域づくりに取り組む体制を構築することである。学校運営協議会の設置も進みつつあり、ふるさと教育、キャリア教育が盛んに取り組まれている中で、地域づくりに学校が協力することが求められる。地域の伝統文化の継承とともに、地域の産業振興についても積極的に取り組んでいただきたい。また、教師の多忙化対策も同時並行で取り組むべきところで、特に中学校の部活動指導の負担軽減は喫緊の課題となる。

第三に、新型コロナの感染防止に向けた「新しい生活様式」に対応した教育のあり方の追求である。デジタル化、遠隔化が可能なところは積極的に取り入れ、新しい可能性を開くことが必要であり、そのためにはネット環境などの格差を埋める努力が必要になる。一方で、対面やアナログの意義も再認識される所であり、三密を避けながらのつながりが模索されなければならない。デジタルとアナログ、遠隔と対面のベストミックスを追究することが課題となる。

佐藤 敬顕 氏

大綱で施策の方向性として掲げた30項目すべてにおいて、自己評価が「ほぼ目標どおり以上」であり、令和元年度の教育行政事務の管理及び執行の状況が概ね良好であったと言えます。

学校教育分野では、「ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実」を目指した取組の成果が見られます。小学生ふるさと学習交流会や能代っ子中学生ふるさと会議の参観者からは次のような感想が寄せられています。①いずれの学校でも自分たちのふるさとを見つめ、深く関わる学習を通して、自分とふるさとに対して誇りを感じているところが素晴らしいと思いました。②議会形式で行われた話し合いでは、「わ」のまち能代をつくるための多くのことについて意見が出され、今後の能代の発展について十分考えることができました。などは最大級の賛辞であると思います。今後とも教育活動のあらゆる場面を通して、ふるさとへの愛着や誇りをもてる児童生徒を育てたいものです。

「自己実現を支える生徒指導」が重層的に行われています。いじめや不登校、問題行動等に対応するために、心の教室相談員やスクールカウンセラー、児童生徒支援アドバイザー等を配置したり、はまなす広場や風の子電話を設置したりするなど様々な対策が講じられています。今後とも初期対応を大事にしながら児童生徒に寄り添った丁寧なかかわりを心がけてほしいと思います。

「子どもが主体的に取り組める学習指導」が行われています。ふだんの授業では、学校の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思うのが割合が、小学校4年生から中学校3年生までのすべ

ての学年において目標値の90%以上となっています。今後とも新学習指導要領で求められている主体的・対話的で深い学びのある授業づくりに向け、教員一人一人へのサポートをお願いします。

生涯学習・スポーツ分野では、「読書活動推進事業」の成果が見られます。家読ノートを全児童生徒に配布したり秋田杉製ブックスタンドを作成・配布したりと読書活動啓発のための継続的な取組が行われています。不読率が小学校4年生から中学校2年生までのすべての学年において県平均を大きく下回ったことは、これまでの学校・家庭・地域と連携した取組の成果と言えます。今後とも第2次子ども読書活動推進計画に基づき、読書好きの児童生徒が一人でも多くなるよう具体的な取組を期待します。

「スポーツを活用した地域づくり」が進んでいます。のしろチャレンジデーへの参加やきみまち二ツ井マラソンの企画・運営、能代カップや秋田ノーザンハピネットのホームゲームの開催等が、地域のにぎわい創出に繋がっています。今後はさらにリニューアルしたバスケミュージアムの活用や新たに発足したクラブチームの取組にも期待します。

施設整備分野では、「学校施設の環境改善の推進」に向けた取組が行われています。大規模改修に加え、洋式トイレの改修を令和2年度までに、エアコンの設置を令和3年度までに、すべての学校で行うなど、子どもたちが快適に学ぶことのできる教育環境が計画的に整備されています。

昨今の児童生徒数の減少や高齢化の進行、地域のつながりの希薄化など、変化する社会に対応するためには新たな視点での教育施策が求められます。これまで以上にPDCAサイクルを大事にした事業の展開に努めたいものです。

3 施策体系と評価一覧

基本目標			
施策の方向性		対象年度	
		H30	R1
1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進			
①	学校・家庭・地域の連携協力の推進（のしろDEマナブ事業）	A	A
①	〃（放課後子ども教室事業）	B	B
①	〃（青少年健全育成事業）	A	A
①	〃（子ども館活動事業）	B	A
②	保護者への学習機会の提供等による家庭教育の支援	A	B
③	地域活動に必要な学習機会の提供	B	B
④	読書活動の推進	B	A
⑤	食育を通じた健全な子どもの育成	C	B
2 豊かな人間性を育む学校教育の推進			
①	主体的で創意ある教育活動の推進	B	A
②	心豊でたくましい子どもを育てる指導（自己実現を支える生徒指導）	B	B
②	〃（健やかな心と体の育成）	B	B
③	基礎学力の向上を図る学習指導	B	B
④	幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修	A	A
⑤	安全・安心な学校教育環境の整備（学校安全の推進等）	B	B
	〃（学校施設の老朽化対策等の推進等）	B	A
3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進			
①	学習の成果を地域に生かす取組の推進	A	A
②	市民ニーズや地域課題に対応した多様な学習機会の提供と充実	B	B
③	学習を通じた生きがいつくり、仲間づくりの支援	C	B
④	社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実（公民館管理運営事業等）	B	B
④	〃（図書館管理運営事業）	B	A
4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興			
①	伝統芸能の継承	B	B
②	文化財保護事業の推進（文化財保護事業）	A	B
②	〃（檜山安東氏城館跡保存管理事業）	B	B
②	〃（埋蔵文化財調査事業）	B	B
③	文化芸術の振興（市民文化振興事業）	B	B
③	〃（文化会館主催事業）	B	B
5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進			
①	学校と地域における子どものスポーツ機会の充実	B	B
②	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	C	B
③	スポーツを活用した地域の活性化	B	A
④	市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備	B	B

■平成30年度、令和元年度事業の評価比較

平成30年度 ほぼ目標どおり以上 27/30項目中（90.0%）

令和元年度 ほぼ目標どおり以上 30/30項目中（100.0%）

	H30	R1
項目数	30	30
A目標を上回る	6	10
Bほぼ目標どおり	21	20
Cやや下回る	3	0
D大幅に下回る	0	0

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進			
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進			
方針・目標	自分が住む地域への理解を深め、「ふるさと能代」に愛着をもった子どもたちを育成するため、能代の地域全体を学びの場とした体験活動を中心に事業を推進します。			
事業・取組名	のしろDEマナブゥ事業			
目標値	マナブゥ市の参加人数で、前年度以上を目指します。			
事務事業の実績	<p>(1) 講座の実施回数及び参加人数 51 講座 664 人参加 (H30 : 61 講座 442 人参加)</p> <p>(2) マナブゥ・イベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニマナブゥ市の開催 (5/26 開催) ・マナブゥ市の開催 (10/5 開催 延べ 632 人参加) ・ふるさと学習交流会の開催 (学校教育課との共催) 郷土芸能発表 1 団体 <p>(3) マナブゥ・カードの配布 1,471 枚配布 (H30 1,325 枚)</p>			
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり
	評価	A	A	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <p>① マナブゥ市の参加人数 延べ 632 人参加 (H30 : 602 人) (H30 : 602 人、H29 : 535 人、H28 : 534 人) 過去 3 年間の平均値 557 人</p> <p>② マナブゥ市において、新たに参加した市民団体があり、事業の PR 効果が見られた。マナブゥ・カードについては、使用機会の拡充を検討し、更なる周知を行っていく。</p>			
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()			
	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①ニーズに応じた事業展開 アンケート結果に基づき、子ども達がやってみたい体験活動を各講座へ取り入れるなど、学校と日程調整を図りながら、より多くの子どもが参加できるような事業を推進する。</p> <p>②事業内容の検討 豊かな自然、歴史文化等の地域資源を生かしたイベント等の開催により、子ども達が楽しく遊びながら地域を学び、自ら興味を持って取組める内容の事業を検討。</p> <p>③イベントを通じた事業周知 子どもが参加するイベント等を通して、子ども達に分かりやすいカードの使用方法やマナブゥ市、親子でのしろの宝さがし事業等の周知に努める。</p> <p>④マナブゥカードの使用拡充の検討 マナブゥカードが使える機会が年 2 回のため、今後、新たなカードの使用方法や使用機会の拡充を検討する。</p> <p>⑤民間団体等との連携 事業の趣旨にあった民間団体 (青年会議所等) の講座等と連携し、カードがもらえる機会を増やすとともに、地域全体への理解を広げていく。</p>			

<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>○講座の参加者数、マナブゥ市の参加人数、カード配布数ともに相当数の増加があり、成果があらわれている。カードの使用方法・機会の拡充、民間団体との連携などにより、さらなる可能性を広げていただきたい。</p> <p>□マナブゥ市の参加人数が述べ 632 人と前年度を上回っている。絵手紙や木工、囲碁など様々な体験コーナーが設けられたり、これまで集めたマナブゥ・カードでくじ引きや好きな物との交換ができたりすることで、子どもたちが興味をもって参加できているものと思う。</p> <p>□講座の参加人数が前年度よりも大幅に増えた。今後とも子どもたちがやってみたいと思えるような体験活動を各講座に取り入れていってほしい。</p>
----------------------------	---

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進						
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進						
方針・目標	学校・家庭・地域・行政等が協働で、体験活動や見守りなど、子どもを育てる環境づくりに取り組みます。						
事業・取組名	放課後子ども教室推進事業						
目標値	週末体験活動の実施回数で、各校年5回を目指します。						
事務事業の実績	1 参加者数等の推移 (人)						
		令和元年度			平成30年度		
		学校数	日数	参加者数	学校数	日数	参加者数
	平日図書室等開放	10	1,754	27,550	12	2,240	26,869
	土曜日体育館開放	3	73	663	3	77	776
	夏休みプール開放	10	141	8,494	12	182	8,546
	週末体験活動	10	46	461	12	71	1,087
	総合プラン	7	25	382	7	35	366
	合計		2,039	37,550		2,605	37,644
		2 週末体験活動の主な活動実績					
	<ul style="list-style-type: none"> ・金勇で茶道体験（淳城西小） ・クリスマスリース（第四小） ・タグラグビー（向能代小） ・ぼんぽこ山に行く（竹生小） ・クリスマス交流会（常盤小） ・親子でカヌー（淳城南小） ・バブルサッカー（第五小） ・ミニテニス（朴瀬小） ・「北限の茶」茶もみ体験（浅内小） ・クリスマスケーキづくり（二ツ井小） 実施回数 6回（2校）、5回（4校）、4回（3校）、2回（1校）						
	3 放課後子ども総合プランに基づく取組						
	<ul style="list-style-type: none"> ・向能代小 将棋教室（6回、延べ90人うち児童クラブ49人） ・第五小 英語教室（5回、延べ68人うち児童クラブ10人） ・淳城西小 工作体験教室（1回、18人うち児童クラブ18人） ・二ツ井小 ハンドメイド教室（5回、延べ106人うち児童クラブ66人） 運動遊び教室（4回、延べ60人うち児童クラブ37人） 						
	4 放課後児童クラブ未設置校における平日の体験活動						
	<ul style="list-style-type: none"> ・朴瀬小 ボッチャ教室（1回、22人） ・竹生小 ボッチャ教室（1回、8人） ・浅内小 ハンドメイド教室（2回、延べ10人） 						
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり			
	評価	B	B	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る			
	[説明]						
	①週末体験活動の実施回数 平均4.6回（延べ46回） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2つの体験活動を中止とした。						
	②講師や安全管理員は地域の方々にお願ひし、地域で子ども達を育てるという意識の醸成を図っている。						
	③ふるさと能代を学ぶ体験だけではなく、子ども達が楽しみながら学べるメニュー						

	<p>一を提供している。</p> <p>④スポ少や習い事のため参加できない児童がいるが、実施日を週末に拘らず、振替休業日に実施するなど、参加しやすいようにした。</p>
課題及び今後の取組の方向性	<p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①学校・家庭・地域の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり、体験活動を通じた心豊かで健やかに育まれる環境づくりのため、事業を継続。 ・体験活動を通して、大人と子どもが共に学び合う意識の醸成を図る。 ・アンケート等により、子ども達が知りたい、学びたいメニューの充実を図る。 <p>②放課後児童クラブとの連携強化</p> <p>放課後子ども総合プランにおける取組を継続。放課後児童クラブと連携した平日の放課後子ども教室を実施する。</p> <p>R2 実施予定ー 児童クラブ設置校 7校 (淳城西、淳城南、第四、第五、向能代、浅内、二ツ井)</p>
学識経験者の意見	<p>○感染防止による中止は致し方ないところで、それ以外のところでは着実に成果を上げている。地域で子どもたちを育てる意識の醸成につながっていると思われる。学校の、できるだけすべての子どもたちが1年に1回は参加できるように取り組んでいただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/> 週末体験活動の実施回数が目標値を下回ったが、タグラグビーや「北限の茶」もみ体験など、子どもたちが興味をもって体験できるような活動内容を取り入れている。</p> <p><input type="checkbox"/> 各小学校のコーディネーター同士が、お互いの取組を紹介し合えるような場を設けるなどして、体験活動の広がりや発掘に努めてほしい。</p>

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進				
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進				
方針・目標	関係機関・団体と連携しボランティアや世代間交流の提供、社会環境づくりなどを行うことで、能代市の将来を担う青少年の自立・成長を促します。				
事業・取組名	青少年健全育成事業				
目標値	中・高生ボランティアの参加割合で、前年度以上を目指します。				
事務事業の実績	1 青少年健全育成事業				
	(1) 「平成 31 年度能代市青少年健全育成活動方針」策定 広報やホームページに掲載し、周知に努めた。				
	(2) 中高生ボランティア活動実績（課関連事業分）				
	課関連事業	内容	回数	中・高校生参加者数	前年度の参加者数
	社会教育参加活動促進事業「みんなでAction!」	あいさつ運動、高齢者お楽しみ会、非行防止街頭キャンペーン、交通安全うちわ作戦、子育て・高齢者世帯訪問、マナブウ市、非行防止街頭キャンペーン、みんなでアクションなど	8回	95人	73人
	命の大切さ事業（子育て支援課と連携）	0歳児ひろば、おまつりひろば、サンデーすくすくひろば、ちびっこフェスティバル、さんぼえむ夏祭りなど	12回	48人	94人
	きみまちの里フェスティバル	物産イベント、マラソン大会など	2回	55人	63人
	中高生ボランティア育成（中央公民館）	のしろ子どもまつり、ひまわり号走る、銀河フェスティバル、のしろであいのコンサートなど	8回	179人	131人
		計	30回	377人	361人
		当該年の能代市の中・高校生の人口		2,553人	2,564人
	参加割合		14.8%	14.1%	
	(3) 事故防止の看板設置（河川、沼等） 130箇所				
	2 能代市成人式の開催				
	(1) 新成人で組織する実行委員会方式で開催				
	(2) 記念品は能代らしいものとし、秋田杉製写真たてとした。				
	(3) 出席者の推移				
		対象者	出席者	出席率	
	R1	H10.4.2～H11.4.1生 511人	416人	81.4%	
	H30	H9.4.2～H10.4.1生 529人	407人	76.9%	
	H29	H8.4.2～H9.4.1生 517人	386人	74.7%	

点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり
	評価	A	A	C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <p>①中・高生ボランティアの参加割合 14.8% (H30:14.1%) と前年度を上回ることができた。</p> <p>②青少年問題協議会を開催し、青少年健全育成活動方針(単年度方針)を定め関係機関・団体に協力を依頼した。</p> <p>③非行防止街頭キャンペーンやみんなでアクションで高校生の参加が増加した。</p> <p>④成人式は、新成人により組織される実行委員(10人)により、企画・運営を行い、4年ぶりに出席率が8割を超えることができた。</p>				
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①中・高生ボランティアの参加促進 関係機関・団体と連携し、中・高生にボランティアの機会を提供しながら異世代間交流や社会参加することにより、青少年の自立・成長を促します。</p> <p>②関係機関との連携 ・引き続き関係機関や団体と連携しながら、青少年健全育成活動に努める。 ・能代市民会議等の会員の高齢化が懸念されており、中・高校生へ非行防止キャンペーン等への参加を働きかけ、世代間交流を図るとともに、活動を通して将来地域を支える若者の育成や互いの活動が充実するよう支援していく。</p> <p>③成人式実行委員会の充実 新成人で構成される実行委員会を通し、大人の仲間入りをするという自覚を持つことを促し、また、新成人の企画運営が仲間づくりのきっかけとなるよう支援する。</p>				
学識経験者の意見	<p>○中高生ボランティアは参加者数、参加者割合ともに上がっており、成果が上がっている。ぜひ中高生自身の声を活かして活動を広げていただきたい。成人式実行委員会のように若者自身の企画・運営等への参画を広げていただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/> 「みんなで Action!」や各種イベントでの中・高生ボランティアの参加が増えている。今後とも関係機関・団体と連携し、中・高生にボランティアの機会を提供して欲しい。</p> <p><input type="checkbox"/> 成人式への出席率が年々増加している。同期の仲間により組織される実行委員会を中心となって企画・運営に当たっていることが要因の一つと思う。今後ともアイデアに富んだ成人式になることを期待したい。</p>				

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進					
施策項目	① 学校・家庭・地域の連携協力の推進					
方針・目標	市民の興味や関心を高めるような、施設を利用したイベント・講座を提供し、子どもから大人まで幅広く気軽に交流できる子ども館を目指します。					
事業・取組名	子ども館活動事業					
目標値	講座満足度アンケートの、「満足」「やや満足」の割合で、90%以上を目指します。					
事務事業の実績	1 講座満足度アンケート【5段階評価で平均4.76(4.89)】					
	項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満足	不満足
	人数(人)	429(425)	62(34)	29(5)	1(1)	1(1)
	割合(%)	82.2(91.2)	11.9(7.3)	5.5(1.1)	0.2(0.2)	0.2(0.2)
	※()は30年度数値					
	2 来館者の推移					
	区分	元年度	30年度	29年度		
	総来館者数	31,480人	43,864人	45,225人		
	プラネタリウム観覧者数	5,580人	6,846人	6,581人		
	事業活動参加者数	259件、3,582人	313件、4,201人	120件、5,631人		
プラネタリウム団体観覧者数	49件、1,607人	56件、1,688人	49件、1,803人			
※30年度から主催・共催事業のみ計上。また、これまで含まれていなかった宇宙検定等の事業を計上。						
3 イベント・講座等実績 ※()は30年度実績						
(1) 主なイベント・講座						
・ペットボトルロケット教室	3件、49人(5件、51人)					
・モデルロケット教室	5件、71人(7件、44人)					
・「はやぶさの日」イベント	3件、130人(2件、108人)					
・自然観察会	4件、34人(2件、13人)					
・風の松原チャレンジ!	4件、34人(2件、11人)					
・かがくあそび	11件、273人(11件、319人)					
・ロボット・プログラミング講座	12件、101人(20件、100人)					
・星空観察会	4件、77人(3件、63人)					
・サイエンスポケットのおもしろ科学実験	2件、48人(2件、70人)					
・わくわくミニ工作	31件、504人(28件、431人)					
・コズミックカレッジ	1件、37人(1件、32人)					
・【新規】とびだせ科学	4件、109人					
(2) 特別イベント						
・のしろ銀河フェスティバル2019	2日間、852人(2日間、980人) ※各会場のうち、子ども館への入館者数 (主な内容)					
工作「円盤はやぶさ2」	4件、196人					
工作「バルーンロケット」	4件、212人(3件、92人)					

	<p>水ロケット工作教室 3件、74人(2件、65人) 水ロケット打ち上げ大会 3件、78人 ※30年度は紙筒ロケットを実施(3件、124人) プラネタリウム無料投映 10回、330人(10回、341人) ・【新規】おめでとう!はやぶさ2 着地成功記念プラネタリウム無料投映 14回、266人</p> <p>(3) 宇宙科学への関心を高める工夫 ・宇宙検定の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>上級</th> <th>中級</th> <th>初級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>10人(5人)</td> <td>28人(45人)</td> <td>113人(168人)</td> </tr> <tr> <td>合格者数</td> <td>9人(3人)</td> <td>11人(8人)</td> <td>84人(118人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・子ども館ウォークラリーの実施 22組、59人(47組、127人) ・2階展示室「宇宙館」ガイドの実施 13件、414人(5件、130人)</p>					上級	中級	初級	参加者数	10人(5人)	28人(45人)	113人(168人)	合格者数	9人(3人)	11人(8人)	84人(118人)
	上級	中級	初級													
参加者数	10人(5人)	28人(45人)	113人(168人)													
合格者数	9人(3人)	11人(8人)	84人(118人)													
点 検 ・ 評 価	対象年度	H 3 0	R 1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり												
	評価	B	A	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る												
	<p>[説明] ①講座満足度アンケートは「満足」「やや満足」と答えた参加者の割合が90%を超えており、引き続き事業内容の充実に努めたい。 ②総来館者数及びプラネタリウム観覧者数は、前年度と比較して減少したが、7～12月に実施した屋根・外壁工事の影響や、新型コロナウイルス感染症対策のため、2月29日から3月31日までプラネタリウムを休止したこと、3月3日から3月31日まで小・中学生、高校生の利用を制限したことが原因である。</p>															
課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他 ()</p> <p>[具体的な課題及び取組] ①子ども館事業の充実 驚きや感動を引き出す科学実験講座の新規実施、季節に合わせた体験活動の積み重ね、リピーターや新規利用者の獲得につなげる人気事業の実施回数増等、事業の充実に努める。 ②宇宙教育の充実 ・モデルロケット教室やペットボトルロケット教室の開催 ・JAXAや日本宇宙少年団ノシロ分団等の関連機関・団体との連携 ・宇宙教育の情報発信(JAXA動画ニュース等の放映) ③小・中学校、高校との連携強化 ・学習プラネタリウム(プラネタリウムを用いた天体関連の授業)の実施 ・施設見学、職場体験(中学生)、インターンシップ(高校生)等の受け入れ ④デジタルプラネタリウムの活用 プラネタリウム番組の投映のほか、3次元シミュレーションによる宇宙空間の飛行体験や太陽系の俯瞰など、デジタルプラネタリウムならではの多彩な機能を活用した事業を実施し、利用の拡大を図る。 ⑤1階展示室の環境整備 利用者ニーズを把握しながら、子どもたちが遊びや交流を通して、楽しみながら体験学習を行えるよう1階展示室の環境整備に努める。</p>															

<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>○工事や感染対策が大きく影響する中ではあるが、着実に取り組みがなされ、成果が上がっている。新しい生活様式が求められる中、対応するための工夫を続けていただきたい。</p> <p>□講座受講者の評価が「満足」と「やや満足」を合わせると94.1%となり、目標値を上回った。今後とも講座内容の充実に努めてほしい。</p> <p>□2階展示室「宇宙館」のガイドの実施が前年度よりも多く、結果として観覧者数も大幅に増えた。また、自然観察会や風の松原チャレンジなどでの参加者数も増えている。今後とも利用者のニーズを把握しながら、イベントや講座内容の充実に努めてほしい。</p> <p>□「子ども館新聞」はレイアウトはもとよりその内容が素晴らしく、毎号楽しみに読ませてもらっている。イベントや講座の内容がタイムリーに発信され、PR効果が期待される。引き続きの発行をお願いしたい。</p>
----------------------------	--

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進																																					
施策項目	② 保護者への学習機会の提供等による家庭教育の支援																																					
方針・目標	核家族化や少子化、産業構造の変化など、子どもや家庭を取り巻く状況が大きく変化しており、保護者に対し様々な手法で学習機会を提供し、家庭教育を支援します。																																					
事業・取組名	家庭教育支援事業																																					
目標値	保護者を対象とした家庭教育関係講座の実施回数で、過去3年間の平均値と同等を目指します。																																					
事務事業の実績	<p>1 庁内連携</p> <p>(1) 家庭教育支援事業推進会議を開催(3月)※中止、資料配布</p> <p>(2) 家庭教育支援事業報告書を作成し関係者に配布(4月)</p> <p>2 情報提供</p> <p>(1) 家庭教育通信「Only one」を発行(3回)</p> <p>(2) 「ちょこっと家庭教育通信」を発行・配布(1件2種)</p> <p>※配布予定の第2回孫かて講座中止のため、未配布</p> <p>3 学習機会の提供</p> <p>(1) 家庭教育関係講座の実施 (件、人)</p> <table border="1" data-bbox="427 1043 1401 1368"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象</th> <th rowspan="2">講座名</th> <th colspan="2">元年度</th> <th colspan="2">30年度</th> </tr> <tr> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> <th>講座数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>家庭教育関係講座</td> <td>22</td> <td>968</td> <td>23</td> <td>995</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">次代の親</td> <td>家庭教育関係講座</td> <td>4</td> <td>355</td> <td>8</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td>社会参加活動推進事業「みんなでAction!」(命の大切さ事業含む)</td> <td>20</td> <td>中高生 143 受入団体 1,461</td> <td>20</td> <td>中高生 160 受入団体 1,358</td> </tr> <tr> <td>祖父母</td> <td>じじばばの孫かて講座</td> <td>1</td> <td>13</td> <td>1</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 「家庭教育に関する・家読におすすめの本」の貸出</p> <p>(R1) 利用者 105人 貸出冊数 162冊</p> <p>(H30) 利用者 96人 貸出冊数 207冊</p> <p>4 人材の育成</p> <p>祖父母等への学習機会の提供</p> <p>「じじばばの孫かて講座」の実施(参加者延べ13人)</p>					対象	講座名	元年度		30年度		講座数	参加者数	講座数	参加者数	保護者	家庭教育関係講座	22	968	23	995	次代の親	家庭教育関係講座	4	355	8	530	社会参加活動推進事業「みんなでAction!」(命の大切さ事業含む)	20	中高生 143 受入団体 1,461	20	中高生 160 受入団体 1,358	祖父母	じじばばの孫かて講座	1	13	1	12
対象	講座名	元年度		30年度																																		
		講座数	参加者数	講座数	参加者数																																	
保護者	家庭教育関係講座	22	968	23	995																																	
次代の親	家庭教育関係講座	4	355	8	530																																	
	社会参加活動推進事業「みんなでAction!」(命の大切さ事業含む)	20	中高生 143 受入団体 1,461	20	中高生 160 受入団体 1,358																																	
祖父母	じじばばの孫かて講座	1	13	1	12																																	
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり																																		
	評価	A	B	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																		
<p>[説明]</p> <p>① 保護者を対象とした家庭教育関係講座の実施回数 22回 過去3年間の平均値 22.3回 (H29:23回、H28:22回、H27:22回)</p> <p>② 祖父母等を対象とした「孫かて講座」は、「子どもの食物アレルギーについて」と「孫との安全な遊び」を実施。大変好評であった。</p> <p>③ 家庭教育関係講座のアンケート結果は、「とても参考になった」等の評価が多</p>																																						

	<p>い。しかし、新型コロナウイルスの影響で中止となる講座があったり、講座を受講しない学校があった。</p> <p>④ 家庭教育通信（Only one）の認知度は非常に高い。特に子育て家庭でよく読まれている。</p>
<p>課題及び 今後の取組の 方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>〔具体的な課題及び取組〕</p> <p>①中学生の保護者を対象とする学習機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭教育に関する本・家読におすすめの本」の貸出を継続する。 ・保護者へ直接情報が届く周知方法を検討する。 <p>②プレ親（次代の親となる中学生・高校生）を対象とした講座等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さ事業（赤ちゃんとのおふれあい）を継続する。 ・プレ親（中学生）を対象とした性教育講座、命の大切さ講座について、全生徒が受講できるよう、引き続き学校に働きかける。
<p>学識経験者 の意見</p>	<p>○コロナの影響もある中で、意義のある取り組みが行われている。中学生に対する性教育講座、命の大切な講座についてはぜひすべての学校で行っていただけるよう、校長や養護教諭などとも連携していただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>保護者を対象とした家庭教育関係講座の実施回数は 22 回で、目標値とほぼ同じであった。今後とも親子が一緒になって受講できるような講座を実施してほしい。</p> <p><input type="checkbox"/>プレ親（次代の親となる中学生・高校生）を対象とした性教育講座や命の大切さ講座は、昨今の親による子どもへの虐待等を防止するうえでも不可欠である。すべての生徒が受講できるよう、今後とも学校への働きかけをお願いしたい。</p>

【 生涯学習・スポーツ振興課 】

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進			
施策項目	③ 地域活動に必要な学習機会の提供			
方針・目標	子どもの体験活動等に関わるコーディネーター等を対象に学習機会及び情報交換の場を提供し、資質向上を図り体験活動の推進・充実を図ります。			
事業・取組名	コーディネーター等研修事業			
目標値	放課後子ども教室コーディネーター会議を開催し、子ども達の体験活動に生かします。			
事務事業の実績	<p>1 放課後子ども教室コーディネーター会議 (4/26)</p> <p>参加者 8人 (10人対象)</p> <p>内容 コーディネーターの役割や情報交換</p> <p>2 普通救命講習会 (6/29 から 3回)</p> <p>参加者 25名</p> <p>内容 プール開放や体育館開放等に伴う安全管理員の任務及び救命法</p>			
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり
	評価	B	B	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <p>①年度初めの会議は、各地域で活動しているコーディネーターが一堂に会し、前年度の活動内容を振り返るとともに、新年度の活動や役割を確認し合うことができる有意義な会議であった。</p> <p>放課後子ども教室コーディネーター会議参加者 8人 (10人対象)</p> <p>参加率 80%</p> <p>②普通救命講習会は、夏休みのプール開放前に実施。監視にあたる安全管理員全員が受講し、事故を未然に防ぐ対策を講じている。</p>			
課題及び今後の取組の方向性	<p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①研修・講習内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々のコーディネーター力を尊重しつつ、豊富な社会経験を持つ外部人材との協力も得ながらスキルアップを図る。 ・県主催の研修への参加を勧奨し、市外の取組も参考に幅広い視野での活動ができるよう促す。 ・他の体験活動への参加等によりコーディネーター同士の連携強化を図る。 <p>②学校・家庭・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター等による学校訪問により、学校との連携を密にし、より充実した活動とする。 ・コーディネーターの高齢化が懸念されているため、新たな後継者の発掘や育成につながるよう、情報交換しながらコーディネーターを支援していく。 			
学識経験者の意見	<p>○コーディネーター会議は大変有意義なものであり、年1回からさらに増やせるように検討をお願いしたい。会議でなくとも、適宜情報交換、連携ができるような仕組みを整えていただきたい (すでにあるのかもしれませんが)。</p> <p>□年度初めに行っているコーディネーター会議はお互いの実践を紹介し合える貴重な場であり、できれば対象者全員の参加を望みたい。</p> <p>□学校や地域と連携し、各コーディネーターが独自性を発揮しながら、子どもたちのために適切な体験活動を提供できるよう、支援に努めてほしい。</p>			

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進
施策項目	④ 読書活動の推進
方針・目標	能代市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするため、子どもの発達段階に応じた取組を推進します。
事業・取組名	読書活動推進事業
目標値	子ども読書活動推進計画における指標である「不読率（1カ月に1冊も本を読まない子どもの割合）の低下」を目指します。 県学習状況調査による不読率で県平均を下回るよう目指します。
事務事業の実績	「能代市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組を行った。 1 啓発活動 (1) 読書活動推進関係事業の実施 ・情報リテラシー講座「お墓と法律」(11/20 実施 参加者 21 人) (2) 能代版読書記録ノート「能代っ子家読ノート」の作成・配布 ・小1～4年生用 1,400 部、小5～中学生用 2,050 部を作成 ・家読ノート：全小学校児童・中学校生徒へ配布（6月上旬） ・ノートのデータをPDF化し、市のホームページに掲載 ・うちどくポップ大賞の実施（応募者 23 人） (3) 秋田杉製ブックスタンド作成・配布 ・小学4年生を対象に、秋田杉製ブックスタンドキットを配布（360セット） ・図工の授業で組み立てを行ってもらった。 (4) うちどくDAY（毎月第3日曜日）のポスターを作成し、小中学校及び関係機関へ配布した。 (5) 各学校への働きかけ ・各校の読書活動に関するアンケートを実施し、読書活動の充実へ向けた各校の取組を共有した。 ・学校教育課と市立図書館、生涯学習・スポーツ振興課が連携して「読書活動推進研修会」や「学校図書支援合同研修会」を開催し、各校の図書館担当教諭及び図書支援員の共通理解を図るとともに、読書指導や学校図書館運営に関する力量の向上に努めた。 2 環境整備 (1) 「わたしのおすすめの一冊」図書紹介（広報のしろ掲載 全11回） 元年度は保育園、幼稚園関係に紹介をお願いし、毎月10日号へ掲載した。 (2) 指定管理者等と連携した図書館の管理運営 ・指定管理者と連携した事業の開催や定期的な打ち合わせを実施することで、図書館の運営・取組実施への連携・協力に努めた。 (3) 学校図書館図書標準達成状況の改善 ・各校の学校図書館図書標準達成状況に応じた図書整備費を措置した。 ・年間3回、図書標準達成状況調査を行って状況を把握し、校長会、教頭会、各研修会等で改善を図るよう説明した。

	<p>【学校図書標準の達成率】 予算の重点配分等により図書状況が安定してきている。小・中学校ともにすべての学校で100%を超えている。</p> <table border="1"> <tr> <td>学 校</td> <td>元年度</td> <td>30年度</td> </tr> <tr> <td>小学校平均</td> <td>119.4%</td> <td>122.4%</td> </tr> <tr> <td>中学校平均</td> <td>108.8%</td> <td>112.3%</td> </tr> </table>				学 校	元年度	30年度	小学校平均	119.4%	122.4%	中学校平均	108.8%	112.3%																					
学 校	元年度	30年度																																
小学校平均	119.4%	122.4%																																
中学校平均	108.8%	112.3%																																
点 検 ・ 評 価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり																														
	評価	B	A	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																														
	<p>[説明] 不読率について 不読率は、全て県平均を大きく下回った。 【令和元年度県学習状況調査 質問紙結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 年</th> <th>能代市</th> <th>県平均</th> <th>比較</th> <th>過去3年間の県平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学4年</td> <td>0.3%</td> <td>3.2%</td> <td>-2.9P</td> <td>3.03%</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>1.7%</td> <td>3.9%</td> <td>-2.2P</td> <td>3.97%</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>0.0%</td> <td>5.0%</td> <td>-5.0P</td> <td>4.43%</td> </tr> <tr> <td>中学1年</td> <td>1.6%</td> <td>7.9%</td> <td>-6.3P</td> <td>7.53%</td> </tr> <tr> <td>中学2年</td> <td>1.2%</td> <td>8.9%</td> <td>-7.7P</td> <td>9.03%</td> </tr> </tbody> </table>				学 年	能代市	県平均	比較	過去3年間の県平均	小学4年	0.3%	3.2%	-2.9P	3.03%	小学5年	1.7%	3.9%	-2.2P	3.97%	小学6年	0.0%	5.0%	-5.0P	4.43%	中学1年	1.6%	7.9%	-6.3P	7.53%	中学2年	1.2%	8.9%	-7.7P	9.03%
学 年	能代市	県平均	比較	過去3年間の県平均																														
小学4年	0.3%	3.2%	-2.9P	3.03%																														
小学5年	1.7%	3.9%	-2.2P	3.97%																														
小学6年	0.0%	5.0%	-5.0P	4.43%																														
中学1年	1.6%	7.9%	-6.3P	7.53%																														
中学2年	1.2%	8.9%	-7.7P	9.03%																														
課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 () <p>[具体的な課題及び取組] 子ども読書活動推進計画に基づき、学校・家庭・地域の連携を図りながら施策を実施し、啓発活動を行っていく。 ・家読ノートの利用が高まるよう、家庭で実践しやすい取組を実施する。 ・指標としている県学習状況調査において全学年で不読率が低下し、県平均を下回っており、本を読む子供が増えている。 ・第2次子ども読書活動推進計画（令和2年～6年度）に基づき具体的な取り組みを行っていく。</p>																																	
学 識 経 験 者 の 意 見	<input type="checkbox"/> 様々な取り組みが効果を上げていると思われる。引き続いて取り組みの充実を目指していただきたい。 <input type="checkbox"/> 不読率が小学校4年生から中学校2年生までのすべての学年において県平均を下回った。学校、家庭、地域が連携して取り組んだ成果と思う。 <input type="checkbox"/> 今後は、児童生徒が「家読ノート」をどのように使用しているかを把握し、さらなる活用を促してほしい。																																	

【 学校教育課 】 【 生涯学習・スポーツ振興課 】

基本目標	1 学校・家庭・地域・行政が一体となった、次代を生きる子どもたちを育むまちづくりの推進																											
施策項目	⑤ 食育の推進																											
方針・目標	1 健康的で豊かな食生活を実践し、食育推進に取り組みます。 2 食の安全・安心に関する知識の提供に努めます。																											
事業・取組名	1 学校給食事業 2 食について理解を深める体験活動事業																											
目標値	1 栄養教諭による食育指導を今後3年間で全ての学校で行うよう指導します。 2 学校給食における地場農産物の使用に努めます。																											
事務事業の実績	<p>1 学校給食事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食献立表を通して、朝ごはんの効果等の情報提供を行った。 (3調理場延べ 36回) ・栄養教諭が給食時間に訪問し、食事に関して情報提供を行った。 (3調理場延べ 10回) ・「早寝・早起き、朝ご飯」を推進した。 ・栄養教諭による、食事と健康に関する食育授業を行った。(10校、32回) ・給食だよりの毎月発行により、家庭への情報提供を行った。 (3調理場延べ 36回) <p>2 食について理解を深める体験活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食保護者試食会を開催し、食育に関する講話、資料提供を行った。 (3調理場延べ 9回) ・放課後子ども教室において食に関する講座を開催した。 (14回、延べ112人) ・中央公民館、二ツ井公民館において食に関する講座を開催した。 (25回、延べ409人) ・給食食育デー(毎月19日)において地場産物を使った献立を提供した。 (3調理場延べ 36回) 																											
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり																								
	評価	C	B	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																								
	<p>[説明]</p> <p>①栄養教諭による食育指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭による、食事と健康に関する食育授業を行った。 (元年度10校、延べ32回) ・毎日、朝食を食べる子どもの割合【全国学力・学習状況調査】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>年度</td> <td>元年度</td> <td>30年度</td> <td>29年度</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>95.7%</td> <td>95.2%</td> <td>97.2%</td> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td>96.5%</td> <td>95.6%</td> <td>96.7%</td> </tr> </table> <p>ほとんどの児童生徒が朝食を摂っていて、良好な食生活である。</p> <p>②学校給食における地場農産物の使用割合【学校給食物資使用調査】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>年度</td> <td>30年度</td> <td>29年度</td> <td>28年度</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>33.4%</td> <td>31.2%</td> <td>36.3%</td> </tr> <tr> <td>県平均</td> <td>30.6%</td> <td>30.7%</td> <td>31.2%</td> </tr> </table> <p>産地直売所の納入時期には、収穫予定の野菜を事前に確認し、献立に取り入れた。</p>				年度	元年度	30年度	29年度	市	95.7%	95.2%	97.2%	県平均	96.5%	95.6%	96.7%	年度	30年度	29年度	28年度	市	33.4%	31.2%	36.3%	県平均	30.6%	30.7%	31.2%
年度	元年度	30年度	29年度																									
市	95.7%	95.2%	97.2%																									
県平均	96.5%	95.6%	96.7%																									
年度	30年度	29年度	28年度																									
市	33.4%	31.2%	36.3%																									
県平均	30.6%	30.7%	31.2%																									

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進						
施策項目	① 主体的で創意ある教育活動の推進						
方針・目標	児童生徒の感性を磨き、創造力を豊かにするために、ふるさと教育の推進や宇宙・科学技術の学びの充実を図るなど、各学校の主体的で創意ある教育活動を推進します。						
事業・取組名	1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価 2 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実						
目標値	1 学校関係者評価を実施し、全ての学校でその結果を公表します。 2 県学習状況調査質問紙の「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」の項目で、県平均を上回るよう目指します。						
事務事業の実績	1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価 学校・家庭・地域が相互に連携した教育活動の在り方を検証するため、「あきた型学校評価システム」による学校関係者評価を実施し、市内16校全ての小・中学校でその結果を公表した。 2 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実 ① 10月に小学校第5学年の各学校代表児童が参加し、「小学生ふるさと学習交流会」を開催した。 ② 11月に中学校第2学年全員が参加し「能代っ子中学生ふるさと会議」を開催した。 ③ 県の山本地域振興局総務企画部地域企画課と連携して中学生企業説明会を開催した。 ④ 前年度末から年度初めにかけて学校支援ボランティアを募集し、各学校でボランティアを活用した体験活動を行った。 ⑤ 中学校区を基本として能代東中エリア（第五小・能代東中）と二ツ井中エリア（二ツ井小・二ツ井中）に学校運営協議会を設置してコミュニティ・スクールとし、地域ぐるみの学校づくりを推進した。						
点検・評価	対象年度	H30	R1				
	評価	B	A				
	<table border="1"> <tr> <td>A 目標を上回る</td> <td>B ほぼ目標どおり</td> </tr> <tr> <td>C 目標をやや下回る</td> <td>D 目標を大幅に下回る</td> </tr> </table>			A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり	C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る
A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり						
C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る						
	<p>[説明]</p> <p>1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価 「あきた型学校評価システム」により、学校関係者評価を実施し、全ての小・中学校において学校報やホームページ等でその結果を公表し、学校・家庭・地域の一層の連携を図った。</p> <p>2 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実 ①小学生ふるさと学習交流会の参観者の感想 ・ふるさと学習を通して経験した地域の方々との関わりがよかった。自分の主体的な実体験から学びを築き蓄積して、マインドスキルを上げる本当に素晴らしい発表であった。 ・能代市のふるさとキャリア教育の充実ぶりに感心した。全ての学校が特色を出しながら、子どもたちの社会を支える自覚と高い志を育てている具体が見えて、共に頑張っていこうとする気持ちになれた。 ② 能代っ子中学生ふるさと会議の参観者の感想 ・中学生の視点で考えたことが力強く提言されていて、各学校のふるさと教育が充実していることが伝わってきた。 ・議会形式で行ったことで、発表、提言した生徒たちに達成感を感じた。</p>						

	<p>・各学校とも市の様々な課題に気付き、自分たちなりの解決策を探そうとする姿勢に新鮮さを感じた。こうした子どもたちが将来の能代を担ってくれることを期待する。</p> <p>③秋田県学習状況調査質問紙の結果より</p> <p>【地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う】</p> <table border="1" data-bbox="435 365 1404 642"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>能代市</th> <th>県比較</th> <th>過去3年間の県平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校第4学年</td> <td>93.5%</td> <td>+0.3p</td> <td>92.7%</td> </tr> <tr> <td>小学校第5学年</td> <td>95.2%</td> <td>+3.2p</td> <td>91.8%</td> </tr> <tr> <td>小学校第6学年</td> <td>94.3%</td> <td>+3.2p</td> <td>91.5%</td> </tr> <tr> <td>中学校第1学年</td> <td>92.6%</td> <td>+2.1p</td> <td>90.7%</td> </tr> <tr> <td>中学校第2学年</td> <td>93.1%</td> <td>+3.9p</td> <td>89.1%</td> </tr> </tbody> </table>	学年	能代市	県比較	過去3年間の県平均	小学校第4学年	93.5%	+0.3p	92.7%	小学校第5学年	95.2%	+3.2p	91.8%	小学校第6学年	94.3%	+3.2p	91.5%	中学校第1学年	92.6%	+2.1p	90.7%	中学校第2学年	93.1%	+3.9p	89.1%
学年	能代市	県比較	過去3年間の県平均																						
小学校第4学年	93.5%	+0.3p	92.7%																						
小学校第5学年	95.2%	+3.2p	91.8%																						
小学校第6学年	94.3%	+3.2p	91.5%																						
中学校第1学年	92.6%	+2.1p	90.7%																						
中学校第2学年	93.1%	+3.9p	89.1%																						
<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 学習指導要領の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区を基本に市内全小・中学校に学校運営協議会を設置するに当たり、学校や地域の実情に応じた特色ある教育計画の立案と実践・評価がなされるように学校運営協議会を有効に機能させる。 <p>2 ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全ての小・中学校をコミュニティ・スクールとし、その円滑な運営を推進する。 ・小学生ふるさと学習交流会、能代っ子中学生ふるさと会議を開催する。能代っ子中学生ふるさと会議は議会形式としての開催を継続し、代表校による提言に基づいた全体での話し合いの充実を図る。また、県と連携した事業として中学生企業説明会を継続する。 ・二ツ井小学校・二ツ井中学校における起業体験推進事業の取り組みを推進する。 																								
<p>学識経験者の意見</p>	<p>○中学校区を単位として学校運営協議会の設置や地域との連携、ふるさと学習交流会やふるさと会議、中学生企業説明会、起業体験推進事業など、意欲的な取り組みが行われており、ぜひ継続・充実を図っていただきたい。</p> <p>□「小学生ふるさと学習交流会」では事前の負担軽減を図るために各校の実践を掲示するふるさとコーナーをなくしたり、「能代っ子中学生ふるさと会議」ではテーマに基づいた議会形式での開催にしたりするなど、内容面の工夫が見られる。今後とも児童生徒が真摯にふるさとに向き合えるような場の設定に努めてほしい。</p> <p>□山本地域振興局との連携による企業説明会と「能代っ子中学生ふるさと会議」を同日開催としたことは、タイムリーな企画であったと思う。生徒たちはふるさとの現状把握とともに、将来展望ができたのではないかと。</p> <p>□二つの中学校区で先行実施されたコミュニティ・スクールとしての取組を参考に、令和2年度は全小・中学校において地域ぐるみの特色ある学校づくりが行われることを期待したい。</p>																								

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進
施策項目	② 心豊かでたくましい子どもを育てる指導
方針・目標	いじめや不登校等の問題について、未然防止や早期発見等、適切な対応に努めます。
事業・取組名	自己実現を支える生徒指導
目標値	県学習状況調査質問紙の「学校が楽しい」の項目で、全対象学年において、県平均を上回るよう目指します。
事業の 実績	<p>自己実現を支える生徒指導</p> <p>① 心の教室相談員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校10校中5校に5名（兼務なし）、中学校6校中全校に5名（1名が2校兼務）配置 ・1年間に心の教室を訪れた人数（延べ人数） 12,306人、相談件数404件 <p>② スクールカウンセラーの配置（県委託） （中学校：6校中全校に3人（兼務あり）配置）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間でSCを利用した人数（延べ人数） 692人 <p>③ 適応指導教室「はまなす広場」の設置（不登校児童生徒への個別指導）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級者9人 週に1回～数回の登校等、回復傾向の見られた生徒2人 ・登校に向けて風の子電話との連携を強化 <p>④ 「風の子電話」の設置（電話や来所による教育相談）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間相談件数 電話9件、来所28件（不登校20件、教職員との関係6件、いじめや交友関係5件、学業・進路6件） ・学校や教育研究所、適応指導教室、他機関との連携 <p>⑤ 不登校保護者会の開催（不登校児童生徒をもつ保護者の援助活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第3木曜日19:00～21:00 ・12回開催、保護者延べ63人参加。生徒の改善（回復傾向）へ関わる。 <p>⑥ 児童生徒支援アドバイザーの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5～6月に全小・中学校を訪問して「不登校・いじめ防止研修会」を、各校を会場に職員悉皆研修として実施し、児童生徒の実態把握といじめ・不登校対策への指導助言 ・「風の子電話」に寄せられた相談を把握するとともに、各学校における問題等に応じてすぐに学校を訪問し、連携して対策を考えた。 <p>⑦ 各小・中学校への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策事業についてのリーフレット等の保護者への配付と市ホームページへの掲載 ・各校におけるいじめ・不登校の現状や支援を要する児童生徒についての月例報告とそれに対する指導助言 ・市生徒指導主事会での児童生徒に関する情報交換やいじめ・不登校未然防止の取組の呼びかけ ・Q-Uアンケート（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の実施と分析。小学校5・6年、中学校1・2年で年2回実施。中学校1年生はよりきめ細かな分析ができるhyper-QUを実施。

点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり																								
	評価	B	B	C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る																								
	<p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめは、小学校330件、中学校32件が報告された（H30 小415件、中19件）。「いじめ防止対策推進法」によって広義となったいじめの定義が各校で周知されたことで、いじめの積極的認知につながり、以前に比べて認知件数が増加している。いじめ認知後、各校で即時対応するなど適切な指導が為され解決につながっている。 ・不登校の出現率は11.4人（1000人当たり）である。国の16.9人、県の14.1人（H30）を下回った。本市の不登校出現率は過去3年以上すべて国や県の平均より下回っている。 ・県学習状況調査の質問紙において、「学校が楽しい」の項目で全対象学年が90パーセント以上であったが、小4と中2でわずかではあるが県平均を下回った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>能代市</th> <th>県比較</th> <th>過去3年間の県平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校第4学年</td> <td>92.9%</td> <td>-0.3p</td> <td>93.2%</td> </tr> <tr> <td>小学校第5学年</td> <td>96.1%</td> <td>+1.7p</td> <td>93.9%</td> </tr> <tr> <td>小学校第6学年</td> <td>96.9%</td> <td>+3.0p</td> <td>94.5%</td> </tr> <tr> <td>中学校第1学年</td> <td>95.8%</td> <td>+2.7p</td> <td>93.1%</td> </tr> <tr> <td>中学校第2学年</td> <td>91.3%</td> <td>-0.9p</td> <td>92.0%</td> </tr> </tbody> </table>					学年	能代市	県比較	過去3年間の県平均	小学校第4学年	92.9%	-0.3p	93.2%	小学校第5学年	96.1%	+1.7p	93.9%	小学校第6学年	96.9%	+3.0p	94.5%	中学校第1学年	95.8%	+2.7p	93.1%	中学校第2学年	91.3%	-0.9p	92.0%
学年	能代市	県比較	過去3年間の県平均																										
小学校第4学年	92.9%	-0.3p	93.2%																										
小学校第5学年	96.1%	+1.7p	93.9%																										
小学校第6学年	96.9%	+3.0p	94.5%																										
中学校第1学年	95.8%	+2.7p	93.1%																										
中学校第2学年	91.3%	-0.9p	92.0%																										
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ）																												
	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ問題対策連絡協議会」を開催して本市のいじめ問題の現状を把握し、学校・家庭・地域その他関係者が連携を図って対応する。また自己有用感を高め、すべての児童生徒の安全・安心な学校生活へ向けて、各校のいじめ防止基本方針の学校・家庭・地域での共有を推進し、「いじめは絶対に許さない。」という学校風土をつくる。 ・不登校・不登校傾向の児童生徒の回復に向けて、各校で校内体制を整え、関係機関とも積極的な連携が図られるようにする。また、新たな不登校児童生徒を出さないように、気になる児童生徒への即時対応、チームでの対応を推進する。 ・適応指導教室「はまなす広場」の機能を強化するため、指導員や児童生徒支援アドバイザー、風の子電話相談の相談員が横断的に運営に関わるようにする。 																												
学識経験者の意見	<p>○様々な取り組みが行われ、成果を上げている。引き続き継続と充実を図っていただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/> 「学校が楽しい」の項目では小学校4年生と中学校2年生において県平均を僅かに下回った。今後ともすべての学校で「楽しい学校づくり」に取り組んでほしい。</p> <p><input type="checkbox"/> いじめや不登校等の問題に対応するために、心の教室相談員や児童生徒支援アドバイザー等を配置したり、「はまなす広場」や「風の子電話」を設置したりと様々な対策が講じられており、引き続きの取組をお願いしたい。</p> <p><input type="checkbox"/> いじめや不登校、問題行動等の対応にあたっては初期対応がポイントとなる。初期対応のマニュアルを作成し、具体的な対応のし方について共通理解を図るなど、全教職員でかかわってほしい。</p>																												

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進			
施策項目	③ 基礎学力の向上を図る学習指導			
方針・目標	児童生徒の基礎学力の確実な定着と向上を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。			
事業・取組名	1 基本的な学習習慣の確立 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 3 評価を生かした授業改善 4 ねらいに即したICTの効果的な活用			
目標値	1 「学校がある日の勉強時間」（1時間以上勉強している児童生徒の割合）で、県平均を上回るよう目指します。 2 学習意欲に関する肯定的評価が小学生で80%以上、中学生で60%以上、児童生徒同士の学び合いに関する評価が、小・中学校とも90%以上を目指します。 3 学校訪問等で参観した主体的・対話的で深い学びの授業事例を教育情報紙で全ての小・中学校から1つ以上紹介します。			
事務事業の実績	1 基本的な学習習慣の確立 県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、学校訪問等での情報交換及び指導助言等を実施した。 2 子どもが主体的に取り組める学習指導 ①県学習状況調査の学校分析と補充・改善の実施、研究主任会での情報交換及び指導助言等を実施した。 ・個々の児童生徒の補充学習実施の促進を図った。 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の促進を図った。 ②研修機会（初任者研修、講師等研修会、算数・数学学力向上研修会、研究主任会等）の提供と各校の情報共有を行った。 ・能代市山本郡の初任者、講師を対象に、初任者研修、講師等研修会を開催し、「秋田の探究型授業」のポイント等について指導助言した。 ・小・中学校の算数・数学担当者を対象に「算数・数学学力向上研修会」を開催し、算数・数学の学力向上へ向けた授業づくりのポイント等を専門監の授業を参観するとともに指導助言した。 3 評価を生かした授業改善 ・学校訪問（所長訪問随同行、市教委訪問、要請訪問）において、授業改善について指導助言した。 ・市教委訪問では、学校の研究体制や道徳科における課題設定・話し合い活動の在り方について、具体的に指導助言した。 ・児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実践事例について、教育情報紙「ふいご」に掲載し、実践の共有化を図った。			
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	評価	B	B	

1 基本的な学習習慣の確立

【学校がある日の勉強時間（1時間以上勉強している児童生徒の割合）】

・中1、中2は県平均を下回る結果であった。

学 年	能代市	県との比較	県の3年間の平均
小学4年	43.7%	+ 5.6p	37.0%
小学5年	59.1%	+ 8.4p	56.9%
小学6年	68.0%	+ 7.6p	68.3%
中学1年	61.3%	- 8.5p	71.2%
中学2年	58.0%	- 6.9p	72.8%

2 子どもが主体的に取り組める学習指導

①学習意欲は「勉強が好きだ」の割合

・すべての学年で県平均を上回った。授業へ意欲的に取り組んでいることが分かる。（中2で目標値を下回った）

学 年	能代市	目標値との比較	県との比較	県の3年間の平均
小学4年	87.3%	+ 7.3p	+ 3.9p	84.0%
小学5年	85.0%	+ 5.0p	+ 5.3p	80.2%
小学6年	87.2%	+ 7.2p	+ 9.4p	78.3%
中学1年	64.8%	+ 4.8p	+ 1.9p	64.2%
中学2年	55.5%	- 4.5p	+ 3.2p	53.9%

②「ふだんの授業では、学校の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う」の割合

・すべての学年で目標値を上回った。授業者が子ども主体の授業を構築しようとしていることが伺える。（中3で県平均を下回った）

学 年	能代市	目標値との比較	県との比較	県の3年間の平均
小学4年	93.2%	+ 3.2p	+ 0.5p	92.5%
小学5年	97.7%	+ 7.7p	+ 3.1p	94.0%
小学6年	98.9%	+ 8.9p	+ 3.4p	95.8%
中学1年	97.1%	+ 7.1p	+ 1.0p	95.8%
中学2年	96.0%	+ 6.0p	- 0.1p	95.9%

3 評価を生かした授業改善

次の授業例等を各小・中学校から1つ以上授業紹介した。

例①湊城西小（理科）：理科における探究の過程がていねいに行われていた。

予想した根拠を発表する場面では、日常生活と結び付けたり、既習事項と関連付けたりしながら、多様な視点からの発言が見られた。予想が正しければ、このような結果になるはずだという場面も設定されていた。

例②能代東中（国語）：生徒に一斉に発問する場面、個別に発表させる場面を意図的に使い分けていた。登場人物の行動に対して、根拠をもった上で賛成なのか、反対なのか、自分の立場を明確にさせ、必然的な話し合いへとコーディネートしていた。お互いの立場の意見を聞くことによって、生徒が比較検討する過程の中で、生徒の思考が深まっていた。

<p>課題及び 今後の取組の 方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 基本的な学習習慣の確立については、小・中連携による継続的、系統的な学び方指導、家庭への啓発等を引き続き各学校に指導する。</p> <p>2 新学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業改善を目指し、各種研修会や広報等で広く周知する。</p>
<p>学識経験者 の意見</p>	<p>○多くの取り組みの成果が表れている。ただ、中1、中2に若干の課題が見られるところから、原因の分析と、小中連携などによる対処を工夫していただきたい。</p> <p>□基本的な学習習慣の確立では、中学校2年生において勉強時間と学習意欲がともに目標値を下回っており、気になるところである。各学校には状況の分析と改善に向けた取組を望みたい。</p> <p>□児童生徒同士の学び合いに関する評価がすべての学年において目標値を上回った。今後とも児童生徒が「授業では友だちとの間で話し合う活動をよく行っている」と思えるような授業づくりに取り組んでほしい。</p> <p>□初任者研修、講師等研修会、算数・数学学力向上研修会等が計画的に行われ、指導力の向上に取り組んでいる。今後とも指導主事訪問や教育専門監による授業提示等を通して、特に若手教員の指導力アップに努めてほしい。</p>

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進			
施策項目	④ 幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修			
方針・目標	学校や教職員の課題に応じた研修機会の提供と充実により、教職員の識見を広げ、実践的指導力を向上させます。			
事業・取組名	1 学力向上のための研修 2 安全・安心な学校づくりのための研修 3 学びをより豊にするための研修			
目標値	各研修会参加者の肯定的評価で、4段階評価の3.6以上を目指します。			
事務事業の実績	<p>① 職務別研修を実施した。</p> <p>ア 教務主任・研究主任協議会（7月） ミドルリーダーとして期待されることについての講義、情報交換</p> <p>イ 特別支援教育担任等研修会（8月） 付箋紙型ワークショップによる協議、保護者面談のロール・プレイング</p> <p>ウ ミドルリーダーを対象にした教員研修（8月） 豊島区教育フォーラムへの教員派遣。テーマ「合理的配慮に基づいた授業実践」による意見交換。</p> <p>② 教職経験者研修を実施した。</p> <p>ア 初任者研修（5月、8月） 1回目：教育懇談（教育長講話、課長・指導主事による講義等） 2回目：郷土研修（能代市の産業、自然、文化、施設）</p> <p>イ 講師等研修（8月） ・集団協議（生徒指導や学習指導に係るテーマについて）</p> <p>③ テーマ別研修を実施した。</p> <p>ア 読書活動推進研修会（5月）</p> <p>イ 幼保小連携推進協議会（5月）</p> <p>ウ 算数・数学学力向上研修会（5月）</p> <p>エ 情報教育研修会（8月）</p> <p>オ プログラミング教育研修会（8月）</p> <p>カ 外国語活動授業研修会（8月）</p> <p>キ 東京都豊島区との教育連携を生かした研修（6月、11月）</p> <p>ク 電子黒板授業活用研修会（9月）</p>			
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり
	評価	A	A	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <p>・それぞれの研修会で4段階の事後アンケートを実施したところ、参加者から内容が実践的で分かりやすかったなどの評価を得ている。</p> <p>教務主任・研究主任協議会 実践 3.9 内容 3.9</p> <p>特別支援教育担任等研修会 実践 3.9 内容 3.9</p> <p>講師等研修 実践 3.8 内容 3.9</p> <p>読書活動推進研修会 実践 3.7 内容 3.8</p> <p>外国語活動授業研修会 実践 3.8 内容 4.0</p> <p>・能代図書館と連携した読書活動推進研修会、県教育委員会指導主事を招聘した外国語活動授業研修会等、各研修会において講義や参加者どうしの情報交換を行いながら新学習指導要領や能代市の教育方針及び学校の課題等に対応した研修を実施し、各学校の取り組みに生かすことができた。</p>			

	<p>・各学校の中堅教員に対し、ミドルリーダーとしての自覚を促し、実践知の継承と共有を意図的に進めていくことへの意識付けと意欲を図ることができた。</p>
課題及び今後の取組の方向性	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>① ミドルリーダーを育成する研修の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊島区との教育交流事業の充実によるミドルリーダーの実践的指導力の向上 ・教務主任・研究主任協議会の充実 <p>② 教科等の実践的指導力向上に関する研修の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板やデジタル教科書等、ICTを活用した効果的な授業づくりに係る研修の実施 ・算数・数学学力向上研修会での教育専門監による授業提示や小・中学校の学びの連続性及び秋田の探究型授業等への理解を深める講義・協議の実施 <p>③ 生徒指導の機能を指導に生かすための研修の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市教育委員会指導主事と児童生徒支援アドバイザーによる全ての小・中学校訪問の実施 ・心の教室相談員を対象とした研修会の実施 <p>④ 特別支援教育の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携推進協議会や特別支援教育学級担任等研修会の開催等、学校のニーズに応じ、教育力を高めるための研修会の実施 <p>今後も、各学校において能代市が目指す教育の方向性への理解が深まり、教員一人一人の指導力が一層高まるよう、各学校の実情と教育課題等に即した実践的な研修を企画、実施していく。</p>
学識経験者の意見	<p>○各種の取り組みが行われ、成果が上がっている。今後、特にGIGAスクール構想に対応して、ICTを活用した授業や、コロナの感染を見据えた、遠隔授業に対応するための研修を充実させていただきたい。</p> <p>□職務別研修、教職経験者研修、テーマ別研修が計画的・継続的に実施されている。今後とも県や秋田大学と連携しながら、参加者が主体的に取り組めるような研修内容の開発に努めてほしい。</p> <p>□各研修会参加者の肯定的評価が目標値を上回った。特に外国語活動授業研修会では内容面についての評価がすこぶる高い。今後とも各研修会において実践面、内容面の充実を図ってほしい。</p> <p>□ここ数年、幼保小連携や特別支援教育の充実に向けた新たな取組が見られる。今後とも就学前後の繋ぎの在り方や、特別な教育を必要とする児童生徒へのかかわり方についての研修の機会を確保して行ってほしい。</p>

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進																		
施策項目	⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備																		
方針・目標	1 子どもたちの安全を守るための能力の育成や学校安全の徹底を推進します。 2 経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者等に対する支援を一層充実させ、子どもたちが安全・安心に過ごせる良好な教育環境をつくりま す。																		
事業・取組名	1 学校安全の推進 2 就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進																		
目標値	1 学校生活における児童生徒の事故発生率で、過去3年間の平均値を下回ることを目指します。 2 就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底を図るとともに、制度の見直しを行い、利用促進に努めます。																		
事務事業の実績	1 学校安全の推進 ①教育活動における安全指導 <table border="1" data-bbox="472 797 1399 927"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登下校時の事故</td> <td>10件</td> <td>6件</td> <td>11件</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>校内における事故</td> <td>8件</td> <td>6件</td> <td>6件</td> <td>8件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問等で学校安全に関する指導助言を行った。 ・市内生徒主事会で各校の生徒指導主事に事故発生状況を伝えるとともに、安全に関する指導助言を行った。 ②各学校の実態に応じた安全点検等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携して通学路点検と協議を行い、通学路の改善を図った。 ③学校給食における食の安全の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・食育デー（毎月19日）に地場産物を多く使用した献立を提供した。 ・アレルギーの児童生徒を把握し、代替給食を提供した。（49人） ・危険な異物等が給食に入り込まないように、衛生管理面の徹底に努めた。 2 就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進 ①就学援助 令和2年3月末現在要保護47人、準要保護732人、認定割合は24.7%で、県内でも高い水準となっている。 ②能代市奨学金貸付事業 採用者数：令和元年度18人（高校1人、大学等17人）（30年度4人） ③ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業 入学一時金を入学前に貸与できるよう制度の改正を行った。 採用者数：令和元年度13人（能代11人、三種2人、八峰0人、藤里0人） （30年度13人） ④奨学金返還助成事業 助成者数：令和元年度4人（30年度3人）					平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	登下校時の事故	10件	6件	11件	12件	校内における事故	8件	6件	6件	8件
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度															
登下校時の事故	10件	6件	11件	12件															
校内における事故	8件	6件	6件	8件															
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり															
	評価	B	B	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る															
	[説明] 1 学校安全の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の事故は12件（過去3年間の平均9件）、校内における事故は8件（過去3年間の平均6.7件）で、学校生活における事故の合計は20件と 																		

	<p>なり、過去3年間の平均15.7件を上回る結果であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、通学路の安全点検を合同で実施し、専門家の視点から児童生徒の安全面を考慮した改善を進めることができた。（令和元年度：各校からの点検・改善要望31箇所。対策済み22箇所、対策予定2箇所、対策検討・未定7箇所） ・学校給食における危険な異物等の混入は0件。食物アレルギーによるアナフィラキシーの発生件数は0件。 <p>2 就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進</p> <p>①就学援助 制度の周知が図られていることなどから、認定割合が上昇傾向にある。</p> <p>②能代市奨学金貸付事業、ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業 募集・採用決定時期や奨学金の貸与時期を早めるとともに、追加募集を随時実施したことから、AO入学等様々な時期に対応でき、応募者、採用者が増加した。</p> <p>③奨学金返還助成事業 関係機関等と連携し周知を図っていることから、助成対象者が増加している。</p>
<p>課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 学校安全の推進 学校、地域、保護者、関係機関との連携を密にし、多くの目で児童生徒を見守る体制づくりを推進し、事故防止に努めていく。</p> <p>2 就学援助、奨学金貸付事業及び奨学金返還助成事業の周知徹底と利用促進 関係機関と連携し、引き続き利用促進に向けて取り組む。</p>
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>○引き続き、学校安全の確保と、経済的な支援を充実させていただきたい。特に、近年は全国的に子どもの貧困が問題となっており、新型コロナの影響も懸念される。</p> <p>□学校生活における児童生徒の事故件数が目標値を上回った。登下校時のルールや校内生活での約束ごとについて指導を徹底するなど、引き続き事故防止に努めてほしい。</p> <p>□関係機関と連携して通学路の安全点検を実施し、改善の必要な箇所については随時対策が講じられている。対策が未定の箇所については、今後可能な限り改善に向けて取り組んでほしい。</p> <p>□学校給食における危険な異物等の混入件数、及び食物アレルギーによるアナフィラキシーの発生件数がいずれも0件とのことで、食の安全が確保されている。</p>

基本目標	2 豊かな人間性を育む学校教育の推進			
施策項目	⑤ 安全・安心な学校教育環境の整備			
方針・目標	学校施設・設備の計画的な整備に取り組みます。			
事業・取組名	1 学校施設の老朽化対策等の推進 2 学校施設の環境改善の推進			
目標値	1 老朽化対策については、能代市公共施設等総合管理計画を踏まえた整備計画を策定し、順次実施します。また、安全・安心に重大な影響が見込まれるものについては、早期対応を図ります。 2 環境改善については、予定しているトイレ改修を順次実施し、未改修の学校の実施設計を行います。また、エアコンの設置計画を取りまとめます。			
事務事業の実績	1 学校施設の老朽化対策等の推進 ①整備計画の策定 学校、社会教育・スポーツ施設等の教育部所管施設について、「教育施設等長寿命化計画」を策定した。 ②計画的な整備 向能代小の大規模改修（屋上防水、外壁、教室・廊下の床改修等）Ⅰ期工事を行った。国交付金の追加配分に機を逃さず要望し、向能代小Ⅱ期工事、淳城南小Ⅰ期工事の採択を得て2月臨時会で予算措置した。※令和2年度工事 ③常時の調査・点検等 法定・任意点検、職員による随時巡回等により状況を把握し、優先度を考慮し対応した。 2 学校施設の環境改善の推進 ①トイレの改修 洋式トイレが不足している8校のうち、淳城西小、能代東中の改修Ⅱ期工事と向能代小の改修工事を行った。残り5校についても、国の追加配分に機を逃さず要望し、すべて採択を得て2月臨時会で予算措置した。※令和2年度工事 ②エアコンの設置 令和2年度小学校6校、令和3年度小学校1校、中学校6校へ設置する計画を策定した。また、財源についても確保できる見込みとなった。			
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり
	評価	B	A	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] 1 学校施設の老朽化対策等の推進 ○能代市教育施設等長寿命化計画の策定 ○向能代小大規模改修Ⅰ期工事の実施 ◎向能代小大規模改修Ⅱ期工事、淳城南小大規模改修Ⅰ期工事の前倒し予算措置 ○各種法定点検、調査結果等により必要となった整備の実施 2 学校施設の環境改善の推進 ○淳城西小、能代東中トイレ改修Ⅱ期工事の実施 ○向能代小トイレ改修工事の実施 ◎順次改修を進める予定としていた淳城南小、能代第一中、能代第二中、能代南中、二ツ井中のトイレ改修工事の前倒し予算措置 ○エアコン設置計画の策定、令和2年度予算措置			

<p>課題及び 今後の取組の 方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修等に充てる財源の確保 <p>能代市教育施設等長寿命化計画に基づき整備計画を国へ示し、引き続き交付金の獲得と有利な起債の活用に努める。また、交付金の追加配分等のチャンスがあれば、時期を逃さず積極的に要望していく。</p>
<p>学識経験者 の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○建物改修、トイレ改修、エアコン設置など、環境改善が進んできている。今後も予算獲得などに努めていただきたい。 □学校施設の老朽化対策については、整備計画に基づき順次整備をお願いしたい。 □洋式トイレの改修については令和2年度中の工事を、エアコンの設置については令和3年度までにということ、学校施設の環境改善が進んでいることを嬉しく思う。

基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進											
施策項目	① 学習の成果を地域に生かす取り組みの推進											
方針・目標	市民の学習意欲を高められるよう学習環境の整備とともに、学びの成果を地域に生かすことができるよう生涯学習諸施策の充実を図ります。											
事業・取組名	生涯学習推進事業											
目標値	出前講座の利用件数で、過去3年間の平均値以上を目指します。											
事務事業の実績	<p>1 生涯学習推進体制</p> <p>(1) 生涯学習推進本部（本部長－市長、本部員－部長等）</p> <p>(2) 生涯学習推進協議会（12人）</p> <p>(3) 生涯学習奨励員（26人）</p> <p>(4) 社会教育指導員（1人）</p> <p>2 情報提供</p> <p>(1) 生涯学習関連事業の作成（生涯学習推進協議会委員等へ配布）</p> <p>(2) 広報のしるへの「生涯学習のしる」掲載（年2回）</p> <p>(3) ホームページによる情報提供（随時）</p> <p>(4) 地元新聞による情報提供</p> <p>3 学習環境の整備 ※（ ）は30年度実績</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>出前講座 講座件数</td> <td>76件</td> <td>（ 73件）</td> </tr> <tr> <td> 利用件数</td> <td>122団体</td> <td>（ 122団体）</td> </tr> <tr> <td> 受講者延べ</td> <td>3,769人</td> <td>（3,604人）</td> </tr> </table> <p>4 人材の活用・育成</p> <p>(1) 生涯学習奨励員の活動促進</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 放課後子ども教室での講師（おかしづくり、絵手紙指導等）</p> <p style="margin-left: 20px;">イ マナブゥ市での交流（工作、手芸等）</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 生涯学習のつどい（工作、料理等）※奨励員自主事業</p>			出前講座 講座件数	76件	（ 73件）	利用件数	122団体	（ 122団体）	受講者延べ	3,769人	（3,604人）
出前講座 講座件数	76件	（ 73件）										
利用件数	122団体	（ 122団体）										
受講者延べ	3,769人	（3,604人）										
点検・評価	対象年度	H30	R1									
	評価	A	A									
	<p>A 目標を上回る B ほぼ目標どおり</p> <p>C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る</p> <p>[説明]</p> <p>①出前講座利用件数 122団体 →<u>過去3年間の平均値 106団体</u>（H30：122団体、H29：94団体、H28：104団体）</p> <p>②市民意識調査「学んだ知識や特技を地区活動や行事で発揮することを心がけている市民の割合」 →15.1%（H30：12.7%、H29：19.8%、H28：15.8%）</p> <p>③第3次能代市社会教育振興中期計画に基づく実施事業数 →104項目（H30 84項目：第3次能代市社会教育振興中期計画）</p> <p>④生涯学習ボランティア登録者数 →53人（H30 53人）</p> <p>⑤生涯学習奨励員による自主事業として、小学生を対象とした生涯学習のつどいが開催され、工作や簡単な料理づくりを通し異世代交流が図られた。</p> <p>⑥連合婦人会による小学生を対象とした踊りの伝承が行われ、少子高齢化が進む中、双方にとってよい効果をもたらしている。</p>											

<p>課題及び 今後の取組の 方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査や講座終了後のアンケート結果を参考とし、市民の学習ニーズや地域課題を把握しながら、それに対応した学習機会の提供に努める。 ・広報、ホームページ、新聞等の活用により、講座情報の周知拡大を図り、学べる環境づくりに努める。 <p>②学びの成果を社会に還元する場や機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだ知識や特技を地区活動等で発揮することができるよう、研修会等で意識づけを図る。 ・発表、交流の場の提供に努め、学習を通じた生きがいづくりを支援する。 <p>③子どもと大人がともに学び合い育ち合う地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源（人・自然・行事等）を生かした体験活動の充実を図る。 ・世代を超えて多様な価値観や考え方に共感できるよう世代間交流を促進する。 ・学校、家庭、地域を繋げるコーディネーターの育成を図り、人と地域を繋ぐ仕組みづくりをすすめる。
<p>学識経験者 の意見</p>	<p><input type="checkbox"/>取り組みの成果が上がっている。今後とも世代間交流、学校との連携に努めていただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>出前講座の利用件数が目標値を上回ったのに加え、受講者の延べ人数も前年度よりも増えている。市民の学習ニーズや地域課題を把握しながら、それに対応した学習機会の提供に努めるとともに、広報やホームページ、新聞等の活用により講座情報の周知拡大を図った結果と思う。</p> <p><input type="checkbox"/>今後とも生涯学習奨励員による生涯学習のつどいや、連合婦人会による踊りの伝承を通して、小学生との世代間交流を進めてほしい。</p>

基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進					
施策項目	② 市民ニーズや地域課題に対応した多様な学習機会の提供と充実					
方針・目標	現代的課題やニーズに応じた講座等を開催するとともに、参加しやすい環境を整えます。					
事業・取組名	公民館活動事業 勤労青少年ホーム活動事業 働く婦人の家活動事業					
目標値	講座数及び参加者数で、過去3年間の平均値以上を目指します。					
事務事業の実績	1 中央公民館・地区公民館等開設講座・事業数					
		年度	講座数	回数	参加者数	対人口比 (各年3.31現在)
		R1	40講座	211回	12,524人	24.1%
		H30	39講座	247回	11,208人	20.8%
		H29	36講座	266回	10,791人	19.7%
		H28	35講座	278回	12,692人	22.8%
		H28～30平均	37講座	264回	11,564人	21.1%
		3年平均との比較	3講座	△53回	960人	3.0%
	2 中央公民館・地区公民館等開催講座内訳(数値は延べ数)					
		分野	おもな事業内容	対象	回数	参加者数
	家庭教育 (幼児教育)	親子体験活動	年中・年長児・ 小学生と保護者	13	276人	
		食育体験学習ほか				
	少年教育	体験活動	地区小学生	13	313人	
	青年教育	ボランティア育成	中・高校生	8	179人	
		障がい者の生涯学習支援	支援学校生ほか	13	2,150人	
	成人教育	集合学習(市民学校)	一般成人	68	907人	
		集合学習(その他講座等)	一般成人	12	371人	
		働く婦人の家講座	一般成人	9	99人	
		勤労青少年ホーム講座	一般成人	2	9人	
	高齢者教育	集合学習(寿大学)	高齢者	53	2,384人	
	文化活動	公民館祭・文化祭	市民等	18	5,714人	
	コミュニティ活動	地域づくり講演会	一般成人	2	122人	
	合 計			211	12,524人	
3 講座周知方法						
	○中央公民館ほか(指定管理) …… 広報・新聞・フリー情報誌・ホームページ ・フェイスブック・Twitter					
	○二ツ井公民館(指定管理) …… 広報・新聞・フリー情報誌・ホームページ					
	○地区公民館 …… (地域住民) チラシ (地域以外) 広報・ホームページ					
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり		
	評価	B	B	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る		

	<p>[説明]</p> <p>① 公民館の講座等については、過去3年間の平均264回・11,564人に対し、元年度は211回・12,524人で、回数は減少したが、参加者数は増加している。また、人口比で見ると平均値から微増となっている。</p> <p>② 中央公民館では、平成30年度から国委託「障害者の生涯学習支援モデル事業」を受託し、学校卒業後の障がい者が社会で自立して生きるために必要となる力を伸ばす目的で各種講座を開催した。文芸や歴史の講座については、毎年内容を工夫し地域の文化芸術振興にも努めている。</p> <p>③ ニツ井公民館では、一般成人向け市民学校と子ども体験教室を可能な限り合同開催し、世代間交流の教育成果も企図している。</p> <p>※R1年度は新型コロナウイルス感染症対策に伴う事業の中止や3月の施設入館制限（子ども）があり、講座数が減少した。</p>
<p>課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 市民のニーズにあった講座等の開設</p> <p>① アンケート等による市民ニーズの把握に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館では「障害者の生涯学習支援モデル事業」を継続し、より効果的な学習プログラムを模索していく。「ボランティア育成講座」では、対象を中学生までとし、広く参加者を募る。 ・参加者アンケートでは、満足度を数値化できるような設問を設定し、更なるニーズの把握に努める。 <p>② 講座へ参加しやすい時間帯の設定や、他行事と重ならないような日程調整を引き続き行っていく。</p> <p>2 多様な手法による情報提供</p> <p>指定管理施設では広報やホームページ、SNSを活用した情報提供のほか、フリー情報誌などにも広告を掲載し幅広い情報提供を試みているが、基幹サイトであるホームページの更新頻度が低いなど課題がある。</p> <p>3 指定管理者等との連携</p> <p>① 引き続き指定管理者との月例打ち合わせを行い、情報交換を密にする。</p> <p>② 中央公民館・地区館の事業担当者間の情報交換の場として公民館長会議を年3回実施する。</p>
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>○新型コロナの感染拡大の影響がある中ではあるが、十分な成果を上げている。今後とも取り組みの充実を図っていただきたい。HPなど、情報提供にも工夫を重ねていただきたい。</p> <p>□講座への参加者数が目標値を上回った。アンケート等により市民のニーズの把握に努めるとともに、他の行事と重ならないよう日程調整を行った結果と思う。</p> <p>□今後とも広報や新聞、フリー情報誌、ホームページ、Twitter、フェイスブック等、多様な手法で情報発信に努めてほしい。</p>

基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進																																																																								
施策項目	③ 学習を通じた生きがいづくり、仲間づくりの支援																																																																								
方針・目標	自主的な学習活動を支援し、学習成果の発表の場及び交流の場の確保、提供に努めます。																																																																								
事業・取組名	公民館活動事業 勤労青少年ホーム活動事業 働く婦人の家活動事業																																																																								
目標値	1 自主学习グループ等登録団体数で、過去3年間の平均値以上を目指します。 2 寿大学の参加者数で、過去3年間の平均値以上を目指します。																																																																								
事務事業の実績	<p>1 グループ等登録状況</p> <p>① 自主学习グループ等登録団体数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">自主学习グループ等合計</th> <th rowspan="2">対人口比 (各年3.31現在)</th> </tr> <tr> <th>団体数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>288団体</td> <td>3,800人</td> <td>7.3%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>279団体</td> <td>3,733人</td> <td>6.9%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>285団体</td> <td>3,905人</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>293団体</td> <td>3,980人</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>H28～30平均</td> <td>286団体</td> <td>3,873人</td> <td>7.0%</td> </tr> <tr> <td>3ヵ年平均との比較</td> <td>2団体</td> <td>△73人</td> <td>0.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※自主学习グループ+働く婦人の家利用グループ</p> <p>② 勤労青少年ホーム利用者連絡協議会登録者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用グループ数</th> <th>登録人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>10団体</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>11団体</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>11団体</td> <td>58人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>10団体</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>H28～30平均</td> <td>11団体</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>3ヵ年平均との比較</td> <td>△1団体</td> <td>△9人</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 寿大学参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>53回</td> <td>2,384人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>51回</td> <td>2,652人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>60回</td> <td>2,698人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>59回</td> <td>2,841人</td> </tr> <tr> <td>H28～30平均</td> <td>57回</td> <td>2,730人</td> </tr> <tr> <td>3ヵ年平均との比較</td> <td>△4回</td> <td>△346人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 グループ増加への取組</p> <p>① 学習成果発表の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代市公民館祭 …………… 10/4～7 ・二ツ井公民館祭 …………… 10/12, 10/25～27 ・地区公民館祭 …………… 東部10/26～27, 南部10/19～20, 	年度	自主学习グループ等合計		対人口比 (各年3.31現在)	団体数	人数	R 1	288団体	3,800人	7.3%	H30	279団体	3,733人	6.9%	H29	285団体	3,905人	7.1%	H28	293団体	3,980人	7.1%	H28～30平均	286団体	3,873人	7.0%	3ヵ年平均との比較	2団体	△73人	0.3%	年度	利用グループ数	登録人数	R 1	10団体	45人	H30	11団体	52人	H29	11団体	58人	H28	10団体	51人	H28～30平均	11団体	54人	3ヵ年平均との比較	△1団体	△9人	年度	回数	参加者数	R 1	53回	2,384人	H30	51回	2,652人	H29	60回	2,698人	H28	59回	2,841人	H28～30平均	57回	2,730人	3ヵ年平均との比較	△4回	△346人
年度	自主学习グループ等合計		対人口比 (各年3.31現在)																																																																						
	団体数	人数																																																																							
R 1	288団体	3,800人	7.3%																																																																						
H30	279団体	3,733人	6.9%																																																																						
H29	285団体	3,905人	7.1%																																																																						
H28	293団体	3,980人	7.1%																																																																						
H28～30平均	286団体	3,873人	7.0%																																																																						
3ヵ年平均との比較	2団体	△73人	0.3%																																																																						
年度	利用グループ数	登録人数																																																																							
R 1	10団体	45人																																																																							
H30	11団体	52人																																																																							
H29	11団体	58人																																																																							
H28	10団体	51人																																																																							
H28～30平均	11団体	54人																																																																							
3ヵ年平均との比較	△1団体	△9人																																																																							
年度	回数	参加者数																																																																							
R 1	53回	2,384人																																																																							
H30	51回	2,652人																																																																							
H29	60回	2,698人																																																																							
H28	59回	2,841人																																																																							
H28～30平均	57回	2,730人																																																																							
3ヵ年平均との比較	△4回	△346人																																																																							

	<p>向能代10/19～20, 檜山10/13, 鶴形11/4, 常盤11/9～10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く婦人の家まつり …………… 10/5, 6 ・勤労青少年ホーム「ノシロメガロックボンバー2019」… 12/1 ・中央寿大学クラブ発表会 …… 2/21 <p>② 講座終了後の自主学習グループ結成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館（指定管理者）…… 1件（市民学校/切り絵） 			
点 検 ・ 評 価	対象年度	H 3 0	R 1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり
	評価	C	B	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <p>① 自主学習グループ等の登録団体については、高齢化や人口減少の影響で団体数、登録人数とも減少傾向で推移してきたが、元年度は新規の登録団体が例年より多くなったため増加に転じた。</p> <p>② 中央公民館主催の市民学校が、自主学習グループ結成につながった。</p> <p>③ 寿大学に関しては、新型コロナウイルス感染症対策で3月の修了式等の行事が中止となったことが減少に影響した。</p>			
課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単発講座ではなく、市民学校等の複数回の学習や、テーマに沿った課題学習がグループ結成につながりやすいため、今後とも指定管理者と連携しながら、学びの継続を奨励していく。 ・各種講座終了後の発表の場として公民館祭等をとらえ、学習者の意欲を高揚し、学びの継続を促していく。 ・自主学習グループ等構成員の高齢化に伴う団体数減、活動人数減が課題の1つであるが、人口減少の影響もあることから、割合等でも確認していく。 			
学 識 経 験 者 の 意 見	<p>○新型コロナや、高齢化・人口減少の悪条件が重なる中ではあるが成果が上がっている。自主学習グループを含め、新規の参加者が増えるように工夫を継続していただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>高齢化や人口減少が進む中で、自主学習グループ等登録団体数が目標値を上回ったことは喜ばしい。新規の登録団体も例年より多かったとのことで、これまでの結成に向けた働きかけが奏功したものと思う。</p> <p><input type="checkbox"/>学習者の意欲を高め、学びの継続を促すためにも、今後とも公民館祭を開催し、発表の場を提供してほしい。</p>			

基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進																						
施策項目	④ 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実																						
方針・目標	学習者が情報を共有でき、利用しやすい環境を整えます。																						
事業・取組名	公民館管理運営事業 施設管理事業（勤労青少年ホーム・働く婦人の家） 文化会館管理運営事業																						
目標値	施設・設備の状況及び利用者の要望を把握し、計画的に修繕や改修を実施します。																						
事務事業の実績	<p>1 施設管理計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代市教育施設長寿命化計画 R2.3 策定 <p>2 指定管理者との情報交換</p> <p>定例打合せ 能代市芸術文化協会 月1回 スポカルきみまち 月1回</p> <p>3 自主学习グループアンケート等の改善要望（主なもの）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央公民館</td> <td>エレベーター設置、椅子・マイク・スクリーンの更新</td> </tr> <tr> <td>東部公民館</td> <td>スリッパ更新、卓球台、ホールの滑り悪い</td> </tr> <tr> <td>南部公民館</td> <td>特になし</td> </tr> <tr> <td>向能代公民館</td> <td>洋式トイレ</td> </tr> <tr> <td>常盤公民館</td> <td>特になし</td> </tr> <tr> <td>二ツ井公民館</td> <td>音響照明設備</td> </tr> <tr> <td>二ツ井分館</td> <td>コピー機、冷房</td> </tr> <tr> <td>働く婦人の家</td> <td>軽運動室エアコン、洋式トイレ</td> </tr> <tr> <td>勤労青少年ホーム</td> <td>冷房</td> </tr> <tr> <td>文化会館</td> <td>エレベーター設置、ピアノ</td> </tr> </tbody> </table> <p>※鶴形公民館、檜山公民館は市民活力推進課が所管</p> <p>4 施設・設備改修（主なもの）</p> <p>ア 文化会館 ※指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大・中ホール照明設備改修 119,340千円 ・ 大・中ホール音響機器改修 54,432千円 ・ 大ホールオーケストラピット温水配管取替 539千円 ・ 地下機械室湧水排水ポンプ取替 646千円 ・ 舞台用開き足更新 1,188千円 ・ 支障木伐採（植栽管理） 929千円 ・ テレビ共聴設備 156千円 <p>イ 勤労青少年ホーム ※指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 軽運動室FF式石油温風暖房機入替 260千円 <p>ウ 地区公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トイレ給水管漏水修繕（向能代公民館） 140千円 ・ 消防設備増設工事（常盤公民館用） 1,386千円 <p>エ 二ツ井公民館・二ツ井分館 ※指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二ツ井公民館 講堂軒天補修工事 1,023千円 	施設名	内容	中央公民館	エレベーター設置、椅子・マイク・スクリーンの更新	東部公民館	スリッパ更新、卓球台、ホールの滑り悪い	南部公民館	特になし	向能代公民館	洋式トイレ	常盤公民館	特になし	二ツ井公民館	音響照明設備	二ツ井分館	コピー機、冷房	働く婦人の家	軽運動室エアコン、洋式トイレ	勤労青少年ホーム	冷房	文化会館	エレベーター設置、ピアノ
施設名	内容																						
中央公民館	エレベーター設置、椅子・マイク・スクリーンの更新																						
東部公民館	スリッパ更新、卓球台、ホールの滑り悪い																						
南部公民館	特になし																						
向能代公民館	洋式トイレ																						
常盤公民館	特になし																						
二ツ井公民館	音響照明設備																						
二ツ井分館	コピー機、冷房																						
働く婦人の家	軽運動室エアコン、洋式トイレ																						
勤労青少年ホーム	冷房																						
文化会館	エレベーター設置、ピアノ																						

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二ツ井公民館 講堂屋根雨漏り修繕 499千円 オ 二ツ井公民館地区分館 ・ ストープ分解取替修繕（荷上場分館） 143千円 				
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり
	評価	B	B	C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <p>① 指定管理者との月例打ち合わせで、生涯学習の推進と利用者の利便性向上に向けた協議を行った。</p> <p>② 文化会館の照明・音響設備工事が完成し、多様な舞台演出が可能となった。また、LED照明に切り替えたことが節電に繋がった。</p> <p>③ 施設や設備の老朽化に伴い改修箇所が増加傾向であるが、優先順位をつけて計画的に対応した。</p>				
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>① 指定管理者等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き指定管理者との月例打ち合わせを行うほか、メール等も活用して随時情報交換を行う。 ・ 中央公民館・地区館の情報交換の場として引き続き公民館長会議を実施する。 <p>② 施設・設備の修繕</p> <p>引き続き指定管理者と連携しながら施設・設備の状態を把握し、計画を立てて修繕や改修を実施するよう努める。</p>				
学識経験者の意見	<input type="checkbox"/> 財政的に厳しい中ではあるが、改修等が図られており、今後も計画的に取り組んでいただきたい。 <input type="checkbox"/> 指定管理者との月例打ち合わせやメール等を活用し、利用者の利便性の向上に向けた協議を随時行っている。 <input type="checkbox"/> 自主学習グループ等からの改善要望を把握し、施設・設備の修繕や改修に計画的に取り組んでいる。				

基本目標	3 より心豊かで生き生きとした暮らしにつながる学びの場づくりの推進																														
施策項目	④ 社会教育施設等の適切な運営による、より良い学習環境の充実																														
方針・目標	市民の学習要求に応えるため、必要な資料を広く収集・整理・提供するとともに、生涯学習や生活に役立ち、利用しやすい情報の拠点となるよう努めます。 また、読書活動を推進するため、学校や家庭との連携を強化するとともに、各種事業を展開し、利用者拡大に努めます。																														
事業・取組名	図書館管理運営事業																														
目標値	図書館利用者数で前年度以上を目指します。																														
事務事業の実績	<p>1 図書館資料の充実</p> <p>(1) 蔵書数（二ツ井図書館含む。以下同じ。）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>一般書</th> <th>郷土</th> <th>児童書</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>132,744 冊</td> <td>18,155 冊</td> <td>41,194 冊</td> <td>192,093 冊</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>129,676 冊</td> <td>17,594 冊</td> <td>39,615 冊</td> <td>186,885 冊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 特色ある蔵書づくり ※()は30年度実績 「木に関するコーナー」 R1 1,827 冊 (1,812 冊) 「宇宙コーナー」 R1 810 冊 (790 冊) 「家読(うちどく)コーナー」 家読ノートに掲載のお薦めの本等を展示</p> <p>(3) 雑誌スポンサー制度 (H26年4月導入) R1 スポンサー数 17 件 / 雑誌 22 誌 (H30 スポンサー数 18 件 / 雑誌 23 誌)</p> <p>2 サービス活動の充実と利用の拡大</p> <p>(1) 貸出冊数、利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>個人貸出</th> <th>団体貸出</th> <th>合計</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>162,959 冊</td> <td>10,446 冊</td> <td>173,405 冊</td> <td>127,198 人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>160,399 冊</td> <td>9,860 冊</td> <td>170,259 冊</td> <td>114,362 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) その他統計 (R1) (H30)</p> <p>ア レファレンス・サービス (参考調査)、読書案内 10,309 件 10,361 件 イ リクエスト(予約)サービス 6,369 冊 5,369 冊 ウ 障がい者サービス (家庭配本) 63 冊 136 冊 エ 県立図書館等公共図書館との相互協力 借受 545 冊 636 冊 貸出 167 冊 258 冊 オ ホームページの整備と管理 アクセス数 17,522 件 16,325 件</p> <p>(3) 市や社会教育施設等との連携</p> <p>ア 「子育て・家庭教育に関する本」の貸出 保育所向け・小学校向け・中学校向けの本3セット(1セット15冊)を、希望のあった施設へ設置 (生涯学習・スポーツ振興課)</p> <p>イ 男女共同参画関連図書の展示、貸出 (6月、11月/市民活力推進課)</p> <p>ウ 育児関係本や絵本の配本 (毎月3歳児検診/健康づくり課)</p> <p>エ 「どの本読もうかな」(読み聞かせおすすめ絵本の紹介)の配布 (年3回/健康づくり課)</p> <p>オ 木に関する加工品の展示 (通年/木材高度加工研究所)</p> <p>カ 資料搬送 (予約資料週3回、返却本週2回)</p>	年度/項目	一般書	郷土	児童書	合計	R 1	132,744 冊	18,155 冊	41,194 冊	192,093 冊	H30	129,676 冊	17,594 冊	39,615 冊	186,885 冊	年度/項目	個人貸出	団体貸出	合計	利用者数	R 1	162,959 冊	10,446 冊	173,405 冊	127,198 人	H30	160,399 冊	9,860 冊	170,259 冊	114,362 人
年度/項目	一般書	郷土	児童書	合計																											
R 1	132,744 冊	18,155 冊	41,194 冊	192,093 冊																											
H30	129,676 冊	17,594 冊	39,615 冊	186,885 冊																											
年度/項目	個人貸出	団体貸出	合計	利用者数																											
R 1	162,959 冊	10,446 冊	173,405 冊	127,198 人																											
H30	160,399 冊	9,860 冊	170,259 冊	114,362 人																											

(4) 学習機会の提供※¹

年度/項目	講座等の開催		人形劇、書評合戦等の開催	
R 1	15 回	315 人	11 回	303 人
H30	13 回	336 人	9 回	533 人

(5) テーマ展示の充実等

特色ある月替わりのテーマ展示やおみくじ等を実施。

- ア としょかんおみくじ (年始)
- イ 子育て支援関連コーナーの設置
- ウ としょかん福袋 (年末)
- エ おやこわいわいルーム (R1 113 人 / H30 159 人)
- オ 家読コーナーでの展示・貸出

(6) 開館時間延長及び開館日拡大の継続

- ・開館を午前9時から、閉館を午後7時とし、開館時間の2時間延長を継続した。
- ・月曜日以外の祝日を開館とし、開館日の拡大を継続した。

3 子どもの読書活動の推進

(1) 読み聞かせ活動の充実及び学校との連携・支援※²

年度/項目	おはなし会		出前おはなし会	
R 1	38 回	493 人	9 施設	185 人
H30	31 回	491 人	6 施設	100 人

(読み聞かせは、職員やボランティアが担当)

- ア 一日図書館員 (小学校6年生) 5 人
- イ 学校図書館担当者研修会 26 人
- ウ 学校への図書配本を実施 16 回 / 1,123 冊
- エ としょかんスタンプラリーの開催 達成者 135 人
- オ 図書館を使った調べる学習コンクールの開催 講座 3 回 / 23 人
応募 16 作品

(2) ボランティアとの連携

※¹ 2 (4) 学習機会の提供、※² 3 (1) 読み聞かせ活動の充実及び学校との連携・支援に記載

点検・評価

対象年度	H30	R1	A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり
評価	B	A	C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る

[説明]

- ① 30年度の図書館利用者数は114,362人、令和元年度は127,198人と、前年度より12,836人の増加となっている。貸出冊数も増加しており、31年2月にオープンした二ツ井図書館分が増えている。
- ② 図書館を使った調べる学習コンクールを開催(3回目)。市内小学校から16点の応募があった。応募点数は減少傾向にあるものの、応募のための講座も開催し調べる学習を通して主体的に学ぼうとする意欲向上に繋がっていると思われる。
- ③ 木材高度加工研究所との連携展示や商店街ビブリオバトル等、他の施設や団体と連携した取組を進めた。
- ④ 能代図書館と二ツ井図書館で共通イベントの実施や返却及び予約資料の搬送を行うことにより利用者の利便性を向上させ、連携を深める取組を進めた。

<p>課題及び今後の取組の方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>①図書資料の充実 市民の学習要求に応えられるよう図書資料の充実を図る。また、特色ある蔵書づくりを推進する。</p> <p>②関係機関との連携 学校や他の公共図書館、図書館ボランティア等との連携を図り、多様な学びの機会の提供やサービスの充実に努める。</p> <p>③指定管理者との連携 H27年度から能代図書館に指定管理者制度を導入し、株式会社図書館流通センターが指定管理者となった。R1年度に2期目の指定管理者の募集を行い、R2～R6年度までの5年間、引き続き株式会社図書館流通センターが受託することとなった。 H31年2月には直営で二ツ井図書館がオープンしており、今後は能代図書館と二ツ井図書館の2館の連携を深め、施設の円滑な維持管理、運営を図りながら事業を推進していく。</p>
<p>学識経験者の意見</p>	<p><input type="checkbox"/>様々な取り組みが行われ、成果が上がっている。特に図書館を使った調べる学習コンクールは興味深く、学校と連携して充実を図っていただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>貸出冊数、利用者数とも前年度を大きく上回った。特色ある蔵書や資料等の充実を図るとともに、講座や人形劇等の開催を通して学習機会の提供に努めた結果と思う。今後とも「利用してみたい」と思えるような図書館づくりに取り組んでほしい。</p> <p><input type="checkbox"/>前年度よりも「おはなし会」の回数を増やし読み聞かせの充実を図っている。一日図書館員の任命も、子どもたちの興味・関心を喚起する取組と思う。今後とも学校と連携しながら子どもの読書活動の推進に努めてほしい。。</p>

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興
施策項目	① 伝統芸能の継承
方針・目標	学校や地域と連携した伝統芸能の継承活動を推進します。
事業・取組名	民俗芸能振興事業
目標値	能代市民俗芸能連合会の構成団体数を維持します。(18 団体)
事務事業の実績	<p>1 能代市民俗芸能連合会構成団体数 (単位保存会数)</p> <p>H29 18 団体 (能代地区 7 二ツ井地区 11)</p> <p>H30 18 団体 (能代地区 7 二ツ井地区 11)</p> <p>R 1 18 団体 (能代地区 7 二ツ井地区 11)</p> <p>2 合同発表会</p> <p>①能代地区 日時：10/6 (日) 会場：能代市総合体育館 (産業フェア会場) 出演団体数：4 団体</p> <p>②二ツ井地区 日時：10/27 (日) 会場：道の駅ふたついで 出演団体数：6 団体</p> <p>3 用具整備補助</p> <p>① 補助：道地佐々楽保存会 内容：浴衣仕立て一式 (20 着) 589,680 円 補助額：県補助 191 千円</p> <p>② 補助：切石郷土芸術振興会 内容：太鼓両面張替 (2 個) 510,300 円 補助額：県補助 255 千円</p> <p>③ 補助：荷上場郷土芸能保存会 内容：太鼓両面張替 (2 個) 254,880 円 補助額：県補助 42 千円/市補助 84 千円</p> <p>④ 補助：鶴形ささら保存会 内容：獅子頭補材更新 111,180 円 補助額：県補助 18 千円/市補助 37 千円</p> <p>4 後継者育成事業 各保存会で実施</p> <p>5 各学校での取組 二ツ井小学校：仁鮎ささら踊・切石作々楽踊・富根報徳番楽 (正課クラブ) 竹生小学校：鳥形獅子踊 (総合的な学習の時間) 能代東中学校：檜山舞・鰯淵番楽・鶴形ささら (合同発表会) ※崇徳小学校はH31.3 閉校</p> <p>6 子ども民俗芸能発表会 日時：11/9 (土) 10:00～11:15 会場：二ツ井伝承ホール 発表：鰯淵番楽・富根報徳番楽・ 二ツ井小学校 (切石作々楽踊・仁鮎ささら踊) 参加者：児童生徒 44 名 (2 名欠席) 来場者：約 140 名</p>

点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る	B ほぼ目標どおり
	評価	B	B	C 目標をやや下回る	D 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連合会構成団体数は18団体を維持している。 ・参加団体数について、連合会の合同発表会は昨年度並みを維持できたが、子ども民俗芸能発表会は、小学校閉校、開催した曜日の関係で減少した。 				
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数の減少と会員の高齢化は各保存会共通の課題であるが、即効的な対応は困難である。今後も連合会との連携を深めていくとともに、用具整備等、単位保存会への支援も継続していく。 ・小学校の統合により、学校教育の一環として行われてきた民俗芸能の体験学習の機会が減少することも考えられる。団体と連携しながら統合後の学校へ働きかけるなど、後継者育成の方向性を模索していきたい。 ・檜山舞の伝承者が亡くなったため、今後の伝承活動支援を検討する。 				
学識経験者の意見	<p>○学校の統廃合によって、民俗芸能の体験学習の機会が失われることにならないように、統合後の学校との連携を強めていただきたい。また、伝承者の死去で伝承が途絶えることがないよう、継承者の発掘等も視野に入れていただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/>各保存会とも会員の高齢化に伴い、会員数の減少と後継者の育成に苦慮していることと推察する。今後とも用具整備に係る補助や民俗芸能発表会の開催に向けた支援をお願いしたい。</p> <p><input type="checkbox"/>統合前の小学校で行われていた民俗芸能の体験学習を引き続き実施できるよう、保存会と連携しながら統合先の小学校に働きかけてほしい。</p>				

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興			
施策項目	② 文化財保護事業の推進			
方針・目標	歴史資料の保存、活用に努めるとともに、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。			
事業・取組名	文化財保護事業			
目標値	1 文化財がき損、散逸しないよう保護に努め、現在の指定・登録文化財数を維持します。(99件) 2 市民の文化財保護意識の高揚を図るため、関係団体と連携して歴史探訪会を開催し、参加者の満足度で5段階評価の4.5以上を目指します。			
事務事業の実績	1 指定・登録文化財数 H29 99件 H30 99件 R 1 101件(2件指定) R2.3.30 指定 木造五智如来立像5体(光久寺) 代邑聞見録1冊 2 指定文化財の修復 掛軸「崇徳」カビ汚染修復 3 案内板等の修繕・設置 ・標柱「五輪台のイチョウ」(二ツ井町荷上場) ・標柱「ドッコのクルミ」(二ツ井町飛根) 4 関係団体の活動支援 ①秋田県文化財保護協会能代支部 ・視察研修会 兼 歴史探訪会(※共催) 「大館市の歴史文化施設めぐり」 日 時：7/10(水) 8:30～17:10 訪問地：大館市立鳥潟会館・秋田犬博物館・大館郷土博物館ほか 参加者：27名 【満足度 平均4.44 88.8%】 ②二ツ井町文化財保護協会 5 個人所蔵資料の所在調査 ・河田駒雄氏収集資料 8/20, 8/27 ・五十嵐佐市郎家資料 12/24 ・古内龍夫氏収集資料 3/26			
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	評価	A	B	
・昨年度同様、歴史探訪会は秋田県文化財保護協会能代支部と共催で実施したが、研修内容については協議ができなかったものの、満足度はほぼ目標値に達している。 ・指定文化財が2件追加となった。				
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他() [具体的な課題及び取組] ・引き続き指定文化財の市外流出の防止を図るため、文化財所有者の情報収集に努めるとともに、市外所有者には市への寄託を依頼する。 ・歴史探訪会についても引き続き参加者の満足できるテーマを設定し、市民の文化財保護意識の高揚を図っていく。			

	・寄託された文化財等の適切な保管のため、保管施設の整備を検討する。
学識経験者の意見	<p>○引き続き文化財の保護・活用に取り組むとともに、市民への広報に努めていただきたい。</p> <p>□指定・登録文化財数が2件の増となった。今後とも修復等により適切な保管に努めてほしい。</p> <p>□歴史探訪会については、参加者の満足度がほぼ目標値に達している。市民の文化財保護意識の高揚を図るために、今後も開催してほしい。</p>

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興
施策項目	② 文化財保護事業の推進
方針・目標	歴史資料の保存、活用に努めるとともに、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。
事業・取組名	檜山安東氏城館跡保存管理事業
目標値	1 檜山城跡の整備の指針となる環境整備計画に基づき、整備(案内板3基設置)・発掘調査を実施します。 2 史跡の管理のための除草延べ25ha、伐木140立米を実施します。
事務事業の実績	1 檜山城跡の発掘調査 調査整備委員会：①踏査 4/22(月) ②現地指導 8/8(木) ③委員会 10/29(火) 調査箇所：本丸・二の丸 調査期間：5/22～11/27 調査面積：約208㎡ 報告書：国史跡檜山安東氏城館跡 檜山城跡Ⅳ —令和元年度4次発掘調査報告書— 2 史跡の除草 延べ27ha 檜山城跡：遺構箇所10ha×2回、遊歩道2回 大館跡：遺構箇所7ha×1回 3 檜山城跡の整備 景観伐木：205立米、213本(29t)の運搬 除伐：1ha 案内板等の設置：案内サイン1基 4 民間業者による史跡檜山安東氏城館跡のき損 土地：能代市母体字水ノ口137番、141番19(面積計38,863㎡) 期間：H30.12.1～H31.3.10 内容：切盛による作業道の造成(幅3～4m、総延長約1.8km)及び スギの間伐(実間伐面積約92,000㎡) 経緯：5/9 無届での現状変更及び史跡き損を確認 7/2 業者からき損届、顛末書提出 8/1 文化庁現地調査 対応：・業者への指導 ・応急措置 ・再発防止策の実施 ……庁内連絡体制の確認、地権者・業者等への周知 5 のしろ檜山周辺歴史ガイドの会 ①利用者数実績 H29 1,391人 / H30 1,321人 / R1 1,627人 ②研修会支援 ○現地研修会「安東氏と由利十二頭の関りを訪ねて」 日時：9/29(日)8:00～17:00 訪問地：山根館跡・由利本荘市矢島支所・龍源寺・矢島郷土資料館 高城山城跡ほか

	参加者：28名 ○研修会「檜山城環境整備計画・令和元年度調査結果について」 日 時：1/26（日）14:30～15:30 会 場：能代市中央公民館 講 師：生涯学習・スポーツ振興課職員 参加者：46名			
点 検 ・ 評 価	対象年度	H 3 0	R 1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり
	評価	B	B	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	[説明] ・ 史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づき、景観伐採及び檜山城跡の発掘調査を計画どおり実施できた。案内板等の設置は、整備調査委員会の指導により1基となった。 ・ 整備中の史跡においてき損が発生した。庁内連絡体制の確認不足が背景にあり、再確認と地権者・業者等への制度周知徹底を図った。			
課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
	[具体的な課題及び取組] ・ 整備及び発掘調査体制の充実に努める。 調査整備委員会の開催及び助言者からの指導を随時実施する。 ・ 史跡への関心を高めるための情報発信のあり方の検討。 様々な手法によるタイムリーな情報提供に努める。 ・ き損への対応として、公有地化の上で史跡の本格復旧を図る必要がある。			
学 識 経 験 者 の 意 見	○き損は残念なことであり、再発防止に努めていただきたい。歴史ガイドの会の利用者が増加しており、研修会も行われており、継続して取り組んでいただきたい。 <input type="checkbox"/> 史跡の管理のための除草、景観伐木が目標値を上回ったことで、見学者の利便性が高まったと思う。 <input type="checkbox"/> のしろ檜山周辺歴史ガイドの会の利用者数が前年度を上回った。今後とも史跡への市民の関心を高めるために、情報発信のあり方を検討してほしい。			

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興		
施策項目	② 文化財保護事業の推進		
方針・目標	歴史資料の保存、活用に努めるとともに、国指定史跡檜山安東氏城館跡環境整備計画に基づいた取り組みを推進します。		
事業・取組名	埋蔵文化財調査事業		
目標値	開発行為に関わる調査依頼に応じ、確認調査・発掘調査を実施します。		
事務事業の実績	1 本発掘調査：依頼件数1件、実施件数1件 梯ノ台遺跡 2 試掘（確認）調査：なし 3 試掘（分布）調査：依頼件数6件、実施件数6件 鍼淵遺跡・檜山城跡近接地・清助町・天神谷地遺跡近接地・ 河戸川浅内地区（県営ほ場整備事業関係）・ 東雲地区（風力発電設備建設事業関係） 4 立会調査：3件 烏野遺跡・下相染下遺跡・梯ノ台遺跡		
点検・評価	対象年度	H30	R1
	評価	B	B
	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る		
	[説明] ・文化財保護法に則り、埋蔵文化財保護事務を遂行できた。		
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ） [具体的な課題及び取組] ・文化財保護法に則り、埋蔵文化財保護事務を進める。		
学識経験者の意見	○引き続き文化財の保存・活用に努めていただきたい。 <input type="checkbox"/> 本発掘調査、試掘（分布）調査、立会調査の合わせて10件が、開発行為に関わる調査依頼に応じ、計画的に実施されている。		

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興																										
施策項目	③ 文化芸術の振興																										
方針・目標	文化芸術団体等への支援に努め、芸術鑑賞の機会や活動の場を提供します。																										
事業・取組名	市民文化振興事業																										
目標値	文化月間の入場者数で、過去3年間の平均値以上を目指します。																										
事務事業の実績	1 文化月間の設定																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">区 分</th> </tr> <tr> <th>展示部門</th> <th>舞台部門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>9団体 入場者数 8,118人</td> <td>17団体 入場者数 619人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>8団体 入場者数 9,025人</td> <td>15団体 入場者数 710人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>9団体 入場者数 8,571人</td> <td>18団体 入場者数 806人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>11団体 入場者数 6,008人</td> <td>19団体 入場者数 847人</td> </tr> <tr> <td>H28～30平均</td> <td>9団体 入場者数 7,868人</td> <td>17団体 入場者数 788人</td> </tr> <tr> <td>3カ年平均と比較</td> <td>- 団体 入場者数 250人</td> <td>- 団体 入場者数△169人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	区 分		展示部門	舞台部門	R 1	9団体 入場者数 8,118人	17団体 入場者数 619人	H30	8団体 入場者数 9,025人	15団体 入場者数 710人	H29	9団体 入場者数 8,571人	18団体 入場者数 806人	H28	11団体 入場者数 6,008人	19団体 入場者数 847人	H28～30平均	9団体 入場者数 7,868人	17団体 入場者数 788人	3カ年平均と比較	- 団体 入場者数 250人	- 団体 入場者数△169人	
年度	区 分																										
	展示部門	舞台部門																									
R 1	9団体 入場者数 8,118人	17団体 入場者数 619人																									
H30	8団体 入場者数 9,025人	15団体 入場者数 710人																									
H29	9団体 入場者数 8,571人	18団体 入場者数 806人																									
H28	11団体 入場者数 6,008人	19団体 入場者数 847人																									
H28～30平均	9団体 入場者数 7,868人	17団体 入場者数 788人																									
3カ年平均と比較	- 団体 入場者数 250人	- 団体 入場者数△169人																									
	<p>2 市民文化振興（文化芸術団体等への支援等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動事業費補助金（ミュージカル、オペラ等公演費の補助） <ul style="list-style-type: none"> (1) 能代ミュージカル 1,077千円（2/23 来場 1,050人/出演 160人） (2) 能代市民ミュージカル 650千円（1/12 来場 920人/出演 100人） (3) 能代オペラ音楽祭 800千円（8/25 来場 608人/出演 75人） ・能代ミュージカルキッズ支援（練習会場使用料等の補助） <ul style="list-style-type: none"> ※新型コロナウイルス感染症対策のため公演中止（3月） ・伝統文化親子教室事業（文化庁／4事業が採択） ・芸術文化による子供育成総合事業（文化庁／8小中学校で実施） ・その他（事業の後援、共催、国県事業の周知等） 																										
	<p>3 市所蔵絵画展の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>期日</th> <th>展示テーマ/会場</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 1</td> <td>10/29～11/3</td> <td>(なし) /ニツ井庁舎会議室</td> <td>161人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>11/2～6</td> <td>(なし) /本庁舎大会議室</td> <td>420人</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>10/25～30</td> <td>(なし) /ニツ井庁舎交流スペース</td> <td>166人</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>12/3～11</td> <td>天空に咲く花/本庁舎大会議室</td> <td>2,197人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>8/13～16</td> <td>能代にゆかりの日本画家展 /文化会館中ホール</td> <td>375人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H29 ニツ井庁舎市民ホール使用のため、全日の立会い/カウントなし チラシ配布 76枚、芳名帳 42人、土日来場（立会い） 48人</p>			年度	期日	展示テーマ/会場	来場者数	R 1	10/29～11/3	(なし) /ニツ井庁舎会議室	161人	H30	11/2～6	(なし) /本庁舎大会議室	420人	H29	10/25～30	(なし) /ニツ井庁舎交流スペース	166人	H28	12/3～11	天空に咲く花/本庁舎大会議室	2,197人	H27	8/13～16	能代にゆかりの日本画家展 /文化会館中ホール	375人
年度	期日	展示テーマ/会場	来場者数																								
R 1	10/29～11/3	(なし) /ニツ井庁舎会議室	161人																								
H30	11/2～6	(なし) /本庁舎大会議室	420人																								
H29	10/25～30	(なし) /ニツ井庁舎交流スペース	166人																								
H28	12/3～11	天空に咲く花/本庁舎大会議室	2,197人																								
H27	8/13～16	能代にゆかりの日本画家展 /文化会館中ホール	375人																								
点検・評価	対象年度	H 3 0	R 1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり																							
	評価	B	B	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																							
	<p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化月間の入場者数について、高齢化等の影響から参加団体は減少傾向であるものの、展示部門の入場者数は3カ年平均を上回った。周知のほか、大ホール等文化会館内での行事の同時開催が入場者数（増）に影響した。 																										

<p>課 題 及 び 今後の取組の 方 向 性</p>	<p>□拡充 ■継続 □廃止検討 □その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化月間の在り方を検討する。（文化月間は、現在市が主唱し、能代市芸術文化協会が主催する約1月の会員の展示発表会である。芸術文化協会の加盟団体及び会員数も減少傾向にあり、前月には公民館祭もあるため、文化月間を類似の催事を包括する期間に再設定するなど、市民の多くが関わることで文化芸術をPRできる行事としていく必要がある。） ・能代市芸術文化協会と連携し、市民文化月間への参加団体の維持・拡大を図る。 ・市ホームページや県生涯学習総合案内サイトを中心に情報提供を行う。 ・市所蔵絵画展は、展示テーマの設定や一層の周知など、アンケート結果を活かしながら、来場者の関心を喚起する工夫をしていく。 ・各種助成事業等については、引き続き、様々な団体が利活用できるようわかりやすい周知に努める。 ・文化芸術振興によって、市民の郷土愛や生活の豊かさの実感につながるよう取り組んでいく。
<p>学 識 経 験 者 の 意 見</p>	<p>○高齢化等、厳しい状況の中ではあるが、今後とも取り組みの充実に努めていただきたい。文化月間の見直しなど、抜本的な検討がなされてもよいと思われる。</p> <p>□文化月間の展示部門の入場者数が目標値を上回った。文化会館内で複数の行事を同時に行ったことが一因とのことである。今後は期日の設定を含め文化月間のあり方についても検討してほしい。</p> <p>□能代ミュージカル、能代市民ミュージカル、能代オペラ音楽祭は本市独自の市民文化であり、多くの市民が楽しみにしていることから、文化芸術団体等への引き続きの支援をお願いしたい。</p>

基本目標	4 ふるさとの伝統文化の継承と文化芸術の振興				
施策項目	③ 文化芸術の振興				
方針・目標	文化芸術団体等への支援に努め、芸術鑑賞の機会や活動の場を提供します。				
事業・取組名	文化会館主催事業				
目標値	事業数及び入場者数で、過去3年間の平均値以上を目指します。				
事務事業の実績	1 主催事業				
	No.	開催日	事業名	内容 入場者	
	1	4/4	南こうせつコンサート	歌謡 800	
	2	7/14	音楽の遊園地コンサート	クラシック/子供 60	
	3	7/27	お笑い・絶品ものまねライブ(2回)	お笑い 1,050	
	4	9/28	メルヴィル弦楽四重奏楽団コンサート	クラシック 250	
	5	1/24	ケマル・ゲキチピアノリサイタル	クラシック 450	
	6	8/28	リージョナルシアター演劇普及事業(全4回)	市民参加型 68	
	7	9/5	第15回みんなで歌うコンサート	市民参加型 300	
	8	12/8	第15回クリスマスこどもコンサート	市民参加型 600	
		3/8	第20回のしろクラシックコンサート	市民参加型 中止	
	R1年度合計			8回 3,578	
	28～30年度平均			9回 6,223	
	3カ年平均との比較			△1回 △2,645	
	2 ロビーコンサート(市民に無料で参加発表できる場を提供)				
	No.	開催日	内容		入場者
	1	4/6	第114回	二中吹奏楽部コンサート	100
	2	5/19	第115回	琴・大正琴演奏会	50
	3	7/15	第116回	コカリナコンサート	100
	4	8/18	第117回	ピアノとコカリナコンサート	80
	5	10/13	第118回	合唱コンサート	120
	6	2/16	第119回	ピアノコンサート	140
		3/20	第120回	一中吹奏楽部コンサート	※中止
		3/21	第121回	二中吹奏楽部コンサート	※中止
		3/22	第122回	工業高校吹奏楽部コンサート	※中止
	R1年度合計			6回 590	
	28～30年度平均			8回 997	
3カ年平均との比較			△2回 △407		
3 市民芸術文化祭(能代市芸術文化協会主催) ※P56の表を再掲					
区分	展示部門		舞台部門		
R1	9団体 入場者数 8,118人		17団体 入場者数 619人		
H30	8団体 入場者数 9,025人		15団体 入場者数 710人		
H29	9団体 入場者数 8,571人		18団体 入場者数 806人		
H28	11団体 入場者数 6,008人		19団体 入場者数 847人		
H28～30平均	9団体 入場者数 7,868人		17団体 入場者数 788人		
3年平均との比較	- 団体 入場者数 250人		- 団体 入場者数 △169人		

4 文化会館主催事業と学校（芸術鑑賞教室等）との連携				
年度	開催日	事業名	対象	入場者
R 1	8/28 ほか	リージョナルアター演劇普及事業	小/高校生	68 人
	9/25 ほか	公共ホール音楽活性化 アウトリーチフォーラム事業	小学生	238 人
H30	実績なし			
H29	9/21, 22	人形劇パペットファンタジー「ムーミン谷の夏まつり」	全小学校 児童	2,391 人
点検・評価	対象年度	H 3 0	R 1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり
	評価	B	B	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
<p>[説明]</p> <p>① 主催事業は、幅広いジャンルの鑑賞機会を提供したが、鑑賞型事業は5事業で2事業減、市民参加型事業では新型コロナウイルス感染症対策で1事業中止となったことが、入場者の減少に影響した。</p> <p>② 「おんかつ（音楽活性化事業）」を活用したアウトリーチ（出張）公演の実施は、子ども達が質の高い芸術に近くで触れる機会となり喜ばれた。</p> <p>③ ロビーコンサートは、新型コロナウイルス感染症対策での子どもの入場制限の影響等で、例年より減少となった。</p> <p>④ 市民芸術文化祭について、展示部門において入場者数は増えたものの、文化月間と同様に、既存の取り組みを継続するだけでは参加団体の減少は今後も続くことが予測されるため、これまでの鑑賞者を団体活動へ引き入れるなど、能代市芸術文化協会と連携しながら検討していきたい。</p>				
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
学識経験者の意見	<p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>市民ニーズを反映した事業を展開するため、引き続き入場者等に対するアンケートを実施する。また、市民や利用者の声の募集の方法（はがき、インターネット等）についても検討していく。</p> <p>○新型コロナによる影響のある中ではあるが、取り組みの充実が図られている。今後の文化芸術団体の継続・育成に向けた方策の検討が求められる。</p> <p>□主催事業については、幅広いジャンルの鑑賞機会の提供に努めている。今後とも市民ニーズを反映した事業を提供してほしい。</p> <p>□ロビーコンサートについては、新型コロナウイルス感染症対策で中止となった学校もあったが、今後も引き続き場の提供をお願いしたい。</p>			

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進
施策項目	① 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
方針・目標	心身ともに健康な大人となる基礎をつくるため、学校体育と地域のスポーツ活動を支援し、体力の向上に努めるとともに、競技力向上を図ります。
事業・取組名	1 子どもの体力向上の推進 2 小中学校の体育等に関する活動の充実
目標値	新体力テストの体力合計点で、すべての学年において、県平均以上を目指します。
事務事業の実績	<p>1 子どもの体力向上の推進 関係団体と連携し、各種事業を通して運動の習慣化等に取り組んだ。</p> <p>○主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代市 <ul style="list-style-type: none"> チャレンジデー きみまち二ツ井マラソン ・指定管理者 <ul style="list-style-type: none"> マリンスポーツ教室（9回）※カヌー&ヨット体験他 NOSHIROバスケットボールフェスタ（1回） スポレクフェスタのしろ、ふたつ（各1回）※ニュースポーツ体験他 ファミリーいきいき水泳塾（4回） ファミリーいきいき体操塾（4回） ファミリーいきいき陸上塾（4回） ・市体育協会 <ul style="list-style-type: none"> 夏休み!!プールでヨット&カヌー教室（4回） ブラウブリッツ秋田サッカークリニックin能代（1回） ・総合型地域スポーツクラブ <ul style="list-style-type: none"> ファミリースポーツ教室（43回）※ミニテニス、卓球、各種レク他 多種目スポーツ教室（48回）※ニュースポーツ他 バスケットボール教室（22回） ・市スポーツ少年団 <ul style="list-style-type: none"> スポレクフェスタのしろ兼能代市スポーツ少年団交流大会（1回） 体力テスト（1回）※上体起こし他4種目 <p>2 小中学校の体育等に関する活動の充実</p> <p>①体育・保健体育学習の充実に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新体力テスト結果分析を以降の学習指導に生かしている。 ・研修会へ参加し、体育・保健体育学習の充実を図っている。 ・休み時間等を活用した運動を実施している。 ・県の指導者派遣事業等を活用し、専門的な知識や技能を学んでいる。 <p>②中学校部活動の活性化を図るため、合同チームなどにより生徒のニーズに応じた運動部活動を推進している。</p> <p>③児童生徒の運動機会の拡充を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の徒歩通学に関する調査結果を情報提供している。 ・学校訪問等で、体力の維持、向上を図るための指導や助言をしている。

点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり																																																																		
	評価	B	B	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る																																																																		
1～2 共通																																																																						
[説明]																																																																						
○新体力テスト体力合計点																																																																						
◇男子																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th>小1</th> <th>小2</th> <th>小3</th> <th>小4</th> <th>小5</th> <th>小6</th> <th>中1</th> <th>中2</th> <th>中3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>県</td> <td>31.78</td> <td>32.57</td> <td>45.01</td> <td>50.74</td> <td>56.90</td> <td>62.48</td> <td>35.69</td> <td>44.78</td> <td>51.07</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>34.03</td> <td>41.07</td> <td>46.54</td> <td>51.24</td> <td>57.91</td> <td>65.18</td> <td>37.31</td> <td>45.40</td> <td>54.17</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>市</td> <td>34.25</td> <td>40.20</td> <td>45.97</td> <td>53.20</td> <td>59.08</td> <td>63.84</td> <td>38.51</td> <td>49.34</td> <td>52.89</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市比較</td> <td>-0.22</td> <td>+0.87</td> <td>+0.57</td> <td>-1.96</td> <td>-1.17</td> <td>+1.34</td> <td>-1.20</td> <td>-3.94</td> <td>+1.28</td> </tr> <tr> <td colspan="2">県比較</td> <td>+2.25</td> <td>+8.50</td> <td>+1.53</td> <td>+0.50</td> <td>+1.01</td> <td>+2.70</td> <td>+1.62</td> <td>+0.62</td> <td>+3.10</td> </tr> </tbody> </table>						年度		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	R1	県	31.78	32.57	45.01	50.74	56.90	62.48	35.69	44.78	51.07	市	34.03	41.07	46.54	51.24	57.91	65.18	37.31	45.40	54.17	H30	市	34.25	40.20	45.97	53.20	59.08	63.84	38.51	49.34	52.89	市比較		-0.22	+0.87	+0.57	-1.96	-1.17	+1.34	-1.20	-3.94	+1.28	県比較		+2.25	+8.50	+1.53	+0.50	+1.01	+2.70	+1.62	+0.62	+3.10
年度		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3																																																												
R1	県	31.78	32.57	45.01	50.74	56.90	62.48	35.69	44.78	51.07																																																												
	市	34.03	41.07	46.54	51.24	57.91	65.18	37.31	45.40	54.17																																																												
H30	市	34.25	40.20	45.97	53.20	59.08	63.84	38.51	49.34	52.89																																																												
市比較		-0.22	+0.87	+0.57	-1.96	-1.17	+1.34	-1.20	-3.94	+1.28																																																												
県比較		+2.25	+8.50	+1.53	+0.50	+1.01	+2.70	+1.62	+0.62	+3.10																																																												
◇女子																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th>小1</th> <th>小2</th> <th>小3</th> <th>小4</th> <th>小5</th> <th>小6</th> <th>中1</th> <th>中2</th> <th>中3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R1</td> <td>県</td> <td>32.57</td> <td>40.52</td> <td>47.15</td> <td>53.48</td> <td>59.65</td> <td>63.93</td> <td>47.46</td> <td>52.41</td> <td>53.90</td> </tr> <tr> <td>市</td> <td>34.47</td> <td>43.41</td> <td>50.15</td> <td>56.02</td> <td>62.09</td> <td>65.35</td> <td>50.09</td> <td>57.50</td> <td>57.66</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>市</td> <td>34.24</td> <td>42.26</td> <td>50.49</td> <td>56.86</td> <td>60.56</td> <td>66.12</td> <td>50.78</td> <td>56.40</td> <td>58.14</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市比較</td> <td>+0.23</td> <td>+1.15</td> <td>-0.34</td> <td>-0.84</td> <td>+1.53</td> <td>-0.77</td> <td>-0.69</td> <td>+1.10</td> <td>-0.48</td> </tr> <tr> <td colspan="2">県比較</td> <td>+1.90</td> <td>+2.89</td> <td>+3.00</td> <td>+2.54</td> <td>+2.44</td> <td>+1.42</td> <td>+2.63</td> <td>+5.09</td> <td>+3.76</td> </tr> </tbody> </table>						年度		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	R1	県	32.57	40.52	47.15	53.48	59.65	63.93	47.46	52.41	53.90	市	34.47	43.41	50.15	56.02	62.09	65.35	50.09	57.50	57.66	H30	市	34.24	42.26	50.49	56.86	60.56	66.12	50.78	56.40	58.14	市比較		+0.23	+1.15	-0.34	-0.84	+1.53	-0.77	-0.69	+1.10	-0.48	県比較		+1.90	+2.89	+3.00	+2.54	+2.44	+1.42	+2.63	+5.09	+3.76
年度		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3																																																												
R1	県	32.57	40.52	47.15	53.48	59.65	63.93	47.46	52.41	53.90																																																												
	市	34.47	43.41	50.15	56.02	62.09	65.35	50.09	57.50	57.66																																																												
H30	市	34.24	42.26	50.49	56.86	60.56	66.12	50.78	56.40	58.14																																																												
市比較		+0.23	+1.15	-0.34	-0.84	+1.53	-0.77	-0.69	+1.10	-0.48																																																												
県比較		+1.90	+2.89	+3.00	+2.54	+2.44	+1.42	+2.63	+5.09	+3.76																																																												
【テスト結果】																																																																						
・昨年に続き、小学生・中学生いずれも全ての学年の男女で、県平均を上回っている。																																																																						
課題及び今後の取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他 ()																																																																					
	[具体的な課題及び取組] 1 子どもの体力向上の推進 幼児から児童生徒まで運動の習慣化に繋げていくため、関係団体と連携しながら引き続き効果的な事業展開を図る。 2 小中学校の体育等に関する活動の充実 児童生徒に運動習慣や健康的な生活習慣を身に付けさせるため、引き続き各事業の推進を図る。																																																																					
学識経験者の意見	○新体力テストの結果はとてもいいものになっており、学校及び地域におけるスポーツの取り組みが成果を上げている。 □新体力テストの体力合計点は、すべての学年において県平均を上回っている。今後は各学校において結果を分析し、改善の必要な種目については具体的に取り組んでほしい。 □生徒数の減少に伴い、中学校の部活動の弱体化が懸念される。合同チームの結成等に当たっては、学校との連携・支援をお願いしたい。																																																																					

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進			
施策項目	② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進			
方針・目標	体力や年齢等に応じて、日常的にスポーツを楽しみながら、体力づくり、健康づくりに取り組むことができる環境を整えます。			
事業・取組名	1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 3 健康づくり運動の推進			
目標値	市民が、体力や年齢等に応じて、安全にスポーツに親しむことができるように、スポーツへの参加を促進する機会や環境の整備を推進します。			
事業の実績	<p>1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充</p> <p>①関係団体と連携し子育て世代等の運動機会の確保に取り組んだ。</p> <p>○主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者 体験版！多種目スポーツ教室（8回）※ニュースポーツ他 ステップエクササイズ教室（8回）※一般女性限定 ・市体育協会 初めてのルーシーダットン教室（4回）※タイ式自己整体法 初めてのバレトン教室（4回）※スローエアロビクス ・総合型地域スポーツクラブ 各種講座 ※太極拳、ヨーガ、フィットネス他 <p>②チャレンジデーの際に各地域でできるスポーツ・運動を紹介した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型イベントの競技を増やした。（25種目、1種目増） ・防災無線を活用しラジオ体操を放送した。（二ツ井・常盤・桧山地域） <p>2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備</p> <p>関係団体と連携し福祉と連動した健康づくり事業を展開している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者 シルバースポーツの日（22回）※バレー、ミニテニス他 ・市体育協会 二ツ井シルバースポーツの日（22回）※バレー、ミニテニス他 ・総合型地域スポーツクラブ 各種講座 ※ラージ卓球、軽運動、健康増進運動他 <p>3 健康づくり運動の推進</p> <p>①チャレンジデー等のイベントを活用した運動機会の創出に努めている。 元年度は今年7回目の参加で、参加率が62.4%から68.7%に増加した。</p> <p>②のしろ歩け歩け大会を開催し、風の松原内のウォーキングを通じて健康づくりの意識を高めた。（4k コース26人、6k コース7人）</p>			
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	評価	C	B	
<p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人の週1回以上のスポーツ実施率（市民意識調査） 目標値にはまだ届かないものの前年度より、1.0ポイントの増となった。 元年度 51.7%（30年度 50.7%） ・チャレンジデーは、参加率68.7%という結果となり前年を上回った。 				

<p>課題及び 今後の取組の 方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 青・壮年期におけるスポーツ参加機会の拡充 継続事業は、各種教室や研修会等それぞれの団体において実施できている。成人の週1回以上のスポーツ実施率が上がったことから、引き続きニーズに対応したプログラムの提供や情報提供の工夫、利用しやすいスポーツ施設の運営等、各団体との連携を図っていく。</p> <p>2 高齢者がはつらつと運動・スポーツに参加できる環境の整備 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。</p> <p>3 健康づくり運動の推進 チャレンジデーは、スポーツや健康づくり、地域の絆づくりに効果的である。参加率も回数を重ねる毎に増加してきていることから、さらに各団体や地域と連携を深め、引き続き参加率の向上とスポーツの習慣化を図っていく。</p>
<p>学識経験者 の意見</p>	<p>○青・壮年期、高齢期のスポーツ参加機会の充実が図られている。チャレンジデーの参加率も上がっており、市民の健康づくりに寄与している。</p> <p>□青・壮年者や高齢者がスポーツを通して健康で明るく生き生きとした生活を送れるよう、各種のスポーツ教室を開催している。</p> <p>□チャレンジデーでの参加者が回を重ねるごとに増えてきている。事前の周知や参加の呼びかけが奏功したものと思う。今後はチャレンジデーへの参加がスポーツの習慣化に繋がるよう、市民に働きかけていってほしい。</p>

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進
施策項目	③ スポーツを活用した地域の活性化
方針・目標	バスケの街づくりの推進や特色あるスポーツ事業、全国レベルの大会誘致や支援による交流人口の拡大に努めます。
事業・取組名	1 スポーツを活用した地域づくり 2 スポーツによる交流人口の拡大 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進
目標値	スポーツを活用した、地域のにぎわい創出と大規模スポーツ大会の誘致や支援等に取り組みます。
事務事業の実績	<p>1 スポーツを活用した地域づくり</p> <p>① のしろチャレンジデー2019に参加した。(7回目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早朝から夜間まで住民がこぞってスポーツに取り組み、地域の一体感を高めた。 市人口 53,261人 参加者 36,589人 参加率 68.7% <p>② 関係団体と連携し、スポーツ合宿等を行った。</p> <p style="text-align: center;">※観光振興課所管のスポーツ・文化合宿事業を除く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会が中心となり実行委員会を組織し、バスケットボールキャラバンのサマーリーグin能代を招致した。(補助事業) 合宿参加チーム 13チーム 374名 (H30 11チーム 278名) <p>2 スポーツによる交流人口の拡大</p> <p>① 関係団体、民間企業等と連携し、スポーツによる交流の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きみまち二ツ井マラソン 2,103人参加 (H30 : 1,737人) <li style="text-align: center;">※オープン参加110人含む ・マラソンとあわせ地元企業等による物産フェア(きみまちの里フェスティバル)を開催した。入場者数 13,621人 (H30 : 12,575人) ・マラソンボランティアの育成が図られた。368人 (H30 : 407人) ・全県大会以上の開催 <li style="padding-left: 20px;">ア 全国大会 6回 <li style="padding-left: 20px;">イ 東北大会 4回 <li style="padding-left: 20px;">ウ 全県大会 41回 <p>②新たなスポーツの魅力の発掘及び開発支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年度から市体育協会です新しいスポーツとして「バブルサッカー」の取組を始め、引き続き「バブルサッカー」の参加者拡大など、普及を図った。 <p>③大規模なスポーツ大会・イベントと連動した観光誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代カップの際、市役所大会議室(旧議事堂)で特別展を開催。 <p>3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進</p> <p>① 本物のバスケに触れられる街づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・bリーグ秋田ノーザンハピネッツ(プロバスケ)のホームゲームが11月に開催された。 <p>②バスケで誰もが集える環境づくり</p> <p>③バスケによる地域経済の活性化</p> <p>④バスケがどこでも感じられる街づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能代カップ等への補助金の交付や、市教育長杯ミニバスケットボール大会

	<p>等の事業を市体育協会等に委託し継続した。</p> <p>最終日の中学生以下の入場料を無料とした。</p> <p>※能代カップ入場者数：6,286人（H30 5,148人）</p> <p>・屋外バスケットリングの設置 市内公園等 25箇所（R1末）</p>			
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり
	評価	B	A	C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	<p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツ選手のプレーと触れ合うことにより、スポーツの素晴らしさや夢に向かって努力する大切さを学ぶことができた。 ・マラソンと物産フェアの合同開催により、スポーツを通じた交流人口の拡大が図られた。また、きみまち二ツ井マラソンの参加者が2,103人と過去最高となった。 ・のしろチャレンジデー2019では、目標参加率67%を超える68.7%（36,589人）と過去最高の参加率により、対戦相手の岡山県赤磐市に勝利することができた。 ・各担当課、関係団体が連携し、これまでどおり事業を継続することで、概ね現状維持はできた。 			
課題及び今後の取組の方向性	<p><input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツを活用した地域づくり 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。 2 スポーツによる交流人口の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントは競技団体が主体となることが多いことから情報収集し、円滑な運営をしていくよう引き続きノウハウの蓄積に努める。 ・市民への情報発信の方法（広報、市ホームページ、SNS等）について、関係団体と連携し、効率的な伝え方を工夫していく。 3 「バスケの街づくり」を中心としたスポーツによる街づくりの推進 関係団体等と連携し、引き続き各種事業の推進及び支援を図っていく。 			
学識経験者の意見	<p>○スポーツを中心として、地域づくり、交流人口の拡大、「バスケの街づくり」が効果的に行われている。能代市の特色ある取り組みとして定着し、地域振興の要ともなっている。引き続き、継続、充実を図っていただきたい。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもたちは、プロスポーツ選手との触れ合いを通して、スポーツの素晴らしさと夢に向かって頑張ることの大切さを学ぶことができる。今後とも触れ合いの場の提供をお願いしたい。</p> <p><input type="checkbox"/> バスケの街づくりの推進に向け、今後とも関係団体等と連携して取り組んでほしい。これまでの能代カップや秋田ノーザンハピネッツのホームゲームの開催に加え、リニューアルしたバスケミュージアムや、新たに発足したクラブチームの取組にも期待したい。</p>			

基本目標	5 スポーツで輝く夢のあるまちづくりの推進			
施策項目	④ 市民が主体的に参画できるスポーツ環境の整備			
方針・目標	総合型クラブの設立支援と地域スポーツ指導者等の人材育成に努めるとともに、安全で利便性の高い施設の充実を図ります。			
事業・取組名	1 地域のスポーツ指導者等の充実 2 スポーツ施設の充実 3 スポーツに関する表彰制度の整備			
目標値	スポーツ関係団体等と連携し、地域のスポーツ指導者等の充実に努め、併せて安全で利便性の高い施設の充実を図ります。			
事務事業の実績	<p>1 地域のスポーツ指導者等の充実</p> <p>①地域のスポーツ指導者の育成と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市スポーツ推進委員会、市体育協会、市スポーツ少年団等研修会の開催や派遣を行った。 ・研修会参加等の支援を行った。 ・スポーツ少年団指導者資格数 40団体 325人 (H30: 44団体 369人) <p>②スポーツリーダーバンク等の整備・充実の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市体育協会スポーツリーダーバンク登録者数 12団体 34人 <p>2 スポーツ施設の充実</p> <p>①スポーツ施設の整備・改修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落合テニスコート改修工事を実施した。(H30～R1継続事業) ・B & G海洋センターの雨漏り補修工事を実施した。 <p>②学校体育施設等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録スポーツクラブ制度により、学校体育館開放を継続して行った。 (淳西小、淳南小、四小、五小、向小) <p>③利用者ニーズに対応した施設の管理運営と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による定期点検など安全管理を行っている。 ・施設利用者アンケートの結果を反映して改善に努めた。 ・施設年間利用者数 314,470人 (H30: 309,500人) <p>④自然環境や屋外施設を活用したスポーツと健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市主催 のしろ歩け歩け大会(風の松原、風の松原陸上競技場) ・市体育協会 マリンスポーツ教室(米代川河口付近) <p>3 スポーツに関する表彰制度の整備</p> <p>児童・生徒の表彰(能代市栄光賞、市体育協会スポーツ賞)を継続して行った。</p>			
点検・評価	対象年度	H30	R1	A 目標を上回る B ほぼ目標どおり C 目標をやや下回る D 目標を大幅に下回る
	評価	B	B	
<p>[説明]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会の開催や派遣を実施・支援することにより、指導者やリーダーの育成と資質の向上を図った。 ・施設の整備等により、利用者が良好なコンディションで競技できる環境整備を図った。 ・体育施設の管理運営に関し、アンケート結果を反映して改善に努めたことにより、利用者ニーズへの対応が図られた。 ・大会等における成績優秀者への表彰を行うことにより、児童・生徒のスポーツに対する意欲の喚起を図った。 				

<p>課題及び 今後の取組の 方向性</p>	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p> <p>[具体的な課題及び取組]</p> <p>1 地域のスポーツ指導者等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ環境を整備する上で指導者の養成・確保は重要であり、そのための研修会や人材の発掘等については、引き続き各団体と連携し取り組んでいく。さらに、養成した指導者を効果的に活用するよう市体育協会のスポーツリーダーバンク等による指導者の派遣を行っていく。 <p>2 スポーツ施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な施設の維持管理を行う。 ・経年劣化している施設の整備について、計画的な修繕及び改修を行う。 ・長寿命化計画に基づき施設の改修計画の検討を行う。 <p>3 スポーツに関する表彰制度の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒への表彰を引き続き行い、併せて世界で活躍する選手に対する表彰制度の検討を行う。
<p>学識経験者 の意見</p>	<p>○財政的には厳しい中ではあるが、スポーツ施設の充実に努め、利用者の安全も確保していただきたい。</p> <p>○地域のスポーツ指導者等の充実を図る中で、中学校の部活動との連携も検討していただきたい。</p> <p>□経年劣化している施設については計画的な修繕・改修が行われ、利用者が気持ちよく競技できる環境になっている。その結果として、施設の年間利用者数が前年度よりも増えている。</p> <p>□能代市栄光賞や市体育協会スポーツ賞の授与は、受賞者にとって喜ばしいことであり、今後競技を続けるうえでの意欲に繋がる。是非、継続して行ってほしい。</p>

Ⅲ 教育委員会の運営状況

(1) 教育委員会の開催状況

① 開催状況

定例会 12回 臨時会 4回

② 審議された案件等

年月日	区分	番号	件名
H31. 4. 1	臨時会	議案 第27号	能代市教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正について
		議案 第28号	能代市教育委員会事務局処務規程の一部改正について
		議案 第29号	能代市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
		議案 第30号	能代市子ども館指導員の委嘱について
H31. 4. 25	定例会	議案 第31号	能代市立小中学校通学区域に関する規則等の一部を改正する規則の一部改正について
		議案 第32号	能代市立小、中学校学校評議員の委嘱について
		議案 第33号	能代市中心の教室相談員の委嘱について
		議案 第34号	能代市学校運営協議会委員の任命について
		議案 第35号	能代市教育支援委員会委員の任命について
R1. 5. 27	定例会	承認 第2号	臨時代理の承認（損害賠償の額決定及び和解について）窓ガラス損傷
		承認 第3号	臨時代理の承認（損害賠償の額決定及び和解について）教育バスの接触
		議案 第36号	能代市教育支援委員会委員の任命について
		議案 第37号	能代市公民館運営審議会委員の委嘱について
		議案 第38号	能代市図書館協議会委員の任命について
		議案 第39号	能代市子ども館運営協議会委員の委嘱について
		議案 第40号	能代市文化会館運営協議会委員の委嘱について
		議案 第41号	能代市屋外運動施設条例及び能代市屋外運動施設使用料条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について
議案 第42号	令和元年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について		
R1. 6. 27	定例会		なし
R1. 7. 25	定例会	議案 第43号	能代市屋外運動施設管理規則の一部改正について
		議案 第44号	第2次能代市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱の制定について
R1. 7. 31	臨時会	議案 第45号	令和2年度使用能代市立小学校教科用図書の採択について
		議案 第46号	令和2年度使用能代市立中学校教科用図書（特別の教科 道徳を除く）の採択について

R1. 8. 26	定例会	議案 第 47 号	第 2 次能代市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の委嘱について
		議案 第 48 号	能代市教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
		議案 第 49 号	令和元年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
R1. 9. 26	定例会		なし
R1. 10. 24	定例会		なし
R1. 11. 25	定例会	議案 第 50 号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案に対する意見の申出について
		議案 第 51 号	能代市公民館条例の一部を改正する条例案に対する意見の申出について
		議案 第 52 号	能代市小学校地域連携施設等使用条例を廃止する条例案に対する意見の申出について
		議案 第 53 号	能代市立図書館の指定管理者の指定に対する意見の申出について
		議案 第 54 号	能代市総合体育館等スポーツ施設の指定管理者の指定に対する意見の申出について
		議案 第 55 号	令和元年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
R1. 12. 26	定例会		なし
R2. 1. 23	定例会	議案 第 1 号	能代市小学校地域連携施設等使用条例施行規則を廃止する等の規則について
		議案 第 2 号	能代市立常盤小学校地域連携施設等処務規程を廃止する訓令について
R2. 2. 20	定例会	承認 第 1 号	臨時代理の承認について（能代市一般会計補正予算）
		承認 第 2 号	臨時代理の承認（損害賠償の額決定及び和解について）倒木による小屋の屋根損傷
		議案 第 3 号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
		議案 第 4 号	能代市勤労青少年ホームの管理運営に関する規則等の一部改正について
		議案 第 5 号	二ツ井伝承ホールの管理運営に関する規則の一部改正について
		議案 第 6 号	第 2 次能代市子ども読書活動推進計画について
		議案 第 7 号	令和元年度能代市一般会計補正予算案に対する意見の申出について
		議案 第 8 号	令和 2 年度能代市一般会計予算案に対する意見の申出について
R2. 2. 28	臨時会	議案 第 9 号	令和 2 年度能代市立小・中学校教職員の人事異動について

R2. 3. 23	臨時会	議案 第 10 号	令和 2 年度能代市教育委員会関係職員の人事異動の発令について
R2. 3. 26	定例会	議案 第 11 号	能代市招致外国青年の勤務条件等に関する規則の全部改正について
		議案 第 12 号	能代市立小中学校通学区域に関する規則の一部改正について
		議案 第 13 号	能代市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について
		議案 第 14 号	能代市社会教育指導員設置規則の一部改正について
		議案 第 15 号	能代市立小中学校児童生徒の災害共済給付に係る共済掛金の徴収に関する規則の制定について
		議案 第 16 号	能代市教育相談員に関する要綱の廃止について
		議案 第 17 号	能代市適応指導教室指導員に関する要綱の廃止について
		議案 第 18 号	能代市心の教室相談員に関する要綱の廃止について
		議案 第 19 号	能代市スクールバス運行管理要綱の一部改正について
		議案 第 20 号	能代市教育研究所処務規程の一部改正について
		議案 第 21 号	能代市子ども館指導員に関する要綱の一部を改正する告示について
		議案 第 22 号	能代市地域学校協働活動推進員等設置要綱の制定について
		議案 第 23 号	能代市学校医及び学校歯科医の委嘱について
		議案 第 24 号	能代市二ツ井公民館分館長及び主事補の委嘱について
		議案 第 25 号	能代市二ツ井公民館分館運営委員の委嘱について
		議案 第 26 号	令和 2 年度能代市学校教育指導の重点について
議案 第 27 号	能代市指定有形文化財の指定について		
議案 第 28 号	能代市教育施設等長寿命化計画（個別施設計画）について		
		報告 第 1 号	令和 2 年度能代市社会教育施設等運営方針について

(2) 教育委員の活動状況

年月日	行 事
R1. 6. 3	能代山本市町教育委員会連合会総会 第1回能代・山本地区教科用図書採択地区協議会
R1. 6. 27	教科用図書採択研究会①
R1. 7. 5	東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会
R1. 7. 16	教科用図書採択研究会②
R1. 7. 19	第2回能代・山本地区教科用図書採択地区協議会
R1. 7. 25	教科用図書採択研究会③
R1. 7. 29	第3回能代・山本地区教科用図書採択地区協議会
R1. 8. 14	能代市成人式
R1. 8. 22	全州市町村教育委員会教育長会議
R1. 10. 5	小学生ふるさと学習交流会
R1. 10. 21	能代市教育委員会訪問（向能代小学校・東雲中学校）
R1. 10. 28	〃（第五小学校・能代東中学校）
R1. 10. 30	〃（浅内小学校・能代南中学校）
R1. 11. 1	〃（湊城南小学校・常盤小学校）
R1. 11. 6	能代山本市町教育委員会連合会委員研修会
R1. 11. 7	能代市教育委員会訪問（竹生小学校・能代第二中学校）
R1. 11. 11	秋田県市町村教育委員会連合会および県都市教育長協議会合同研修会
R1. 11. 18	能代市教育委員会訪問（湊城西小学校・能代第一中学校）
R1. 11. 19	能代っ子中学生ふるさと会議
R1. 11. 20	能代市教育委員会訪問（第四小学校・朴瀬小学校）
R1. 11. 26	〃（二ツ井小学校・二ツ井中学校）
R2. 1. 17	総合教育会議
R2. 3. 8	市内中学校卒業式
R2. 3. 12	市内小学校卒業式

能代市教育委員会事務点検・評価報告書
(令和元年度対象)

能代市教育委員会

〒018-3192

能代市二ツ井町字上台1番地1

(担当 教育総務課)

電 話 0185-73-2757

FAX 0185-73-6459

E-mail kyouiku@city.noshiro.lg.jp